

取扱説明書

DLP Cinema® プロジェクターヘッド

NP-42HD

ライトモジュール

NP-24LU03/NP-20LU03/NP-18LU03

DLP Cinema® プロジェクター

**NP-NC2443ML/NP-NC2043ML/
NP-NC1843ML**

本機を安全にお使いいただくために
ご使用の前に必ずお読みください

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社

型名（地域によって取り扱いのないモデルもあります。）

NP-42HD/NP-NC2443ML/NP-NC2043ML/NP-NC1843ML

NP-24LU03/NP-20LU03/NP-18LU03

はじめに

このたびは、DLP Cinema® プロジェクター NP-42HD/NP-NC2443ML/NP-NC2043ML/NP-NC1843ML（以降、「NP-42HD/NP-NC2443ML/NP-NC2043ML/NP-NC1843ML 本体」を「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。

本書では製品名称を次のように記載しています。製品により内容が異なる部分については、本文中に製品名を記載しています。

- ・ NP-42HD/NP-NC2443ML/NP-NC2043ML/NP-NC1843ML:「本機」または「プロジェクター」
- ・ プロジェクターに接続する信号ケーブルは、フェライトコア付きやシールドタイプを使用してください。それ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

警告：本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

- ・ DLP (Digital Light Processing)、DLP Cinema、DLP Cinema ロゴは、米国 Texas Instruments 社の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Mozilla、Firefox は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 本書に載せているイラストや表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、当社のホームページの「about GPL&LGPL」フォルダ内の readme.pdf をご参照ください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例		△ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
		⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
		● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



警告

設置について

- ・RG3 製品である本機は、業務用途であり安全が担保される設置が必要です。そのため設置やレンズユニットの取り付けおよび取り外しは、専門のサービスマンが行うことが義務付けられていますので、必ず販売店へご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。視力障害などの原因になります。

レーザー光線の安全に関する警告



クラス 1 レーザー製品



注意 - リスクグループ 3 製品

- ・本製品は、レーザー製品の安全基準 JIS C 6802: 2014、IEC 60825-1 3rd Edition: 2014 のクラス 1 に分類されています。
- ・本製品は、IEC 62471-5 1st Edition: 2015 のリスクグループ 3 に分類されています。
- ・本製品は劇場などにおける特定者だけが操作可能です。お客様は本製品を操作しないでください。
- ・本書に記載している以外の制御部の使用、または調整もしくは手順の実施は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。
- ・プロジェクターのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- ・目へのビームの直接被曝を禁止します。
RG3 IEC/EN 62471-5 : 2015
機器管理者 (オペレーター) は Hazard distance 内への人の立ち入りを防止すること。
または、観客の目への被曝を防ぐよう、Hazard distance からの距離を確保する高さに本機を設置すること。
- ・レンズの上のプロジェクター上面に、次ののぞきこみ禁止を表す図記号を表示しています。



- ・レンズから出た光を光学機器 (ルーペや反射鏡など) を使ったのぞかないでください。視力障害の原因となります。
- ・プロジェクターの電源を入れる際は、レンズの方を向いている人がレーザーの射出光路上にいないことを確認してください。

設置および輸送について



- ・プロジェクターの設置および輸送については、販売店にご相談ください。お客様による設置および輸送は絶対におやめください。けがの原因となります。
- ・この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。

電源コードの取り付けについて



- ・電源コードの接続工事は、販売店にご依頼ください。お客様による取り付けは絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本機に電源コードは添付していません。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用してください。電源コードの選定および手配は、販売店にご依頼ください。

決められた電圧以外で使用しない



- ・以下に示す電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
C1 接続の場合 (プロジェクター電源と光源電源へ AC 電源を 1 本のケーブルで供給する場合)
 - ・AC200V-240V 単相 50/60Hz
C2 接続の場合 (プロジェクター電源と光源電源へ別々の電源 ケーブルで AC 電源を供給する場合)
 - ・AC100V-240V 単相 50/60Hz (プロジェクター電源)
 - ・AC200V-240V 単相 50/60Hz (光源電源)



警告

電源コードの取り扱いが大切に



- ・電源コードは大切に取り扱いってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
- ・コードの上に重い物をのせない。
- ・コードをプロジェクターの下敷きにしない。
- ・コードの上を敷物などで覆わない。
- ・コードを傷つけない、加工しない。
- ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・コードを加熱しない。

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。

故障したときは AC 電源を遮断する



AC 電源を遮断する

- ・煙が出ている、変なにおいや音がする場合、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、本体への AC 電源の供給を遮断器などで遮断してください。火災・感電・視力障害・火傷の原因となります。販売店へ修理をご依頼ください。
- ・C2 接続の場合、まず本体の電源を切り、プロジェクター電源および光源電源への AC 電源の供給をそれぞれ遮断器などで遮断して、販売店へ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- ・次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
- ・雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない。
- ・風呂やシャワー室で使用しない。
- ・プロジェクターの上に花瓶、植木鉢を置かない。
- ・プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない。

万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、本体への AC 電源の供給を遮断器などで遮断して、販売店にご連絡ください。

- ・C2 接続の場合、まず本体の電源を切り、プロジェクター電源および光源電源への AC 電源の供給をそれぞれ遮断器などで遮断して、販売店にご連絡ください。

次のような所では使用しない



- ・次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
- ・暖房の近くや振動の多い所
- ・屋外および湿気やほこりの多い場所
- ・油煙や湯気の当たるような場所
- ・調理台や加湿器のそば

内部に物を入れない



異物挿入禁止

- ・プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ・万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、本体への AC 電源の供給を遮断器などで遮断して、販売店にご連絡ください。
- ・C2 接続の場合、まず本体の電源を切り、プロジェクター電源および光源電源への AC 電源の供給をそれぞれ遮断器などで遮断して、販売店にご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- ・プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電およびレーザー光がもれることによる視力障害や火傷の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

警告

雷が鳴りだしたら、本体に触れない



- ・雷が鳴りだしたら、本体に触れないでください。感電の原因となります。

動作中にレンズをふさがない



- ・レンズキャップをつけたまま本機を使用したり、動作中につけたりしないでください。レンズキャップが高温になり、変形したり、溶けたりする原因となります。
- ・動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- ・プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



レンズの取り外し／取り付け



- ・レンズの取り外し、取り付けを行う際は、プロジェクターの電源を切ってください。視力障害の原因となります。レンズの取り付けおよび交換については販売店にご相談ください。

天吊りの設置について



- ・天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

注意

アース端子を接続する



- ・本機は電源コードのアース端子をアースに接続することを前提に設計されている3芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。2芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。詳細は29ページをご覧ください。

通風孔をふさがない



- ・プロジェクターの通風孔をふさがないでください。また、プロジェクターの下に紙や布などの柔らかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。
- ・プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間をあけてください。目安として壁から最低60cm以上、特に背面の排気口前は70cm以上、プロジェクター本体の上方は30cm以上の空間をあけてください。

ぬれた手で本体に触れない



ぬれた手は危険

- ・ぬれた手でプロジェクター本体や電源コードに触れないでください。感電の原因となります。

移動するときは AC 電源を遮断する



AC 電源を遮断する

- ・移動する場合は、本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、機器間の接続ケーブルおよびレンズユニットを外したことを確認のうえ、行ってください。
- ・C2 接続の場合、本体の電源を切り、プロジェクター電源および光源電源への AC 電源の供給をそれぞれ遮断器などで遮断してください。
- ・プロジェクターを移動するときは6人以上で行い、必ず本体前面と背面のハンドルを持って運んでください。

移動するときは本体の底面を持つ



- ・プロジェクターを移動するときは6人以上で行ってください。
- ・必ず本体前面と背面のハンドルおよび底面の手掛けを持って運んでください。その際、レンズユニットはプロジェクター本体から取り外してください。レンズを持つと、レンズが破損したり本体が落下したりしてけがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは AC 電源を遮断する



AC 電源を遮断する

- ・長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず本体の電源を切り、本体への AC 電源の供給を遮断器などで遮断してください。
- ・C2 接続の場合、本体の電源を切り、プロジェクター電源および光源電源への AC 電源の供給をそれぞれ遮断器などで遮断してください。

お手入れの際は AC 電源を遮断する



AC 電源を遮断する

- ・お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を切り、本体への AC 電源の供給を遮断器などで遮断してください。
- ・C2 接続の場合、本体の電源を切り、プロジェクター電源および光源電源への AC 電源の供給をそれぞれ遮断器などで遮断してください。

投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- ・投写中および投写終了直後は、排気口付近を触らないでください。排気口付近と本体後方部が高温になるため、やけどの原因となることがあります。



注意

電源コードのコネクターは電源コードストッパーで固定する



- ・ 本機の AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクターを奥までしっかり挿し込み、必ず電源コードストッパーを使って固定してください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。

点検・工事について



内部の掃除を販売店で

- ・ 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の掃除費用につきましては販売店などにご相談ください。

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



- ・ 本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

冷却液には触れない



- ・ 本体が破損した場合、内部から冷却液がもれ出る場合があります。冷却液がもれた場合はすぐに AC 電源を切り、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。もれ出た冷却液は飲んだり触れたりしないでください。万一口や目に冷却液が入ってしまった場合は、すみやかに医師に相談してください。手に触れた場合は水でよく洗い流してください。

レンズシフト動作中は指の挟み込みに注意



- ・ レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。レンズカバーとレンズユニットの隙間に指が挟まれるおそれがあります。

レンズシフト調整は後方または横から行う



- ・ レンズシフトの調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。

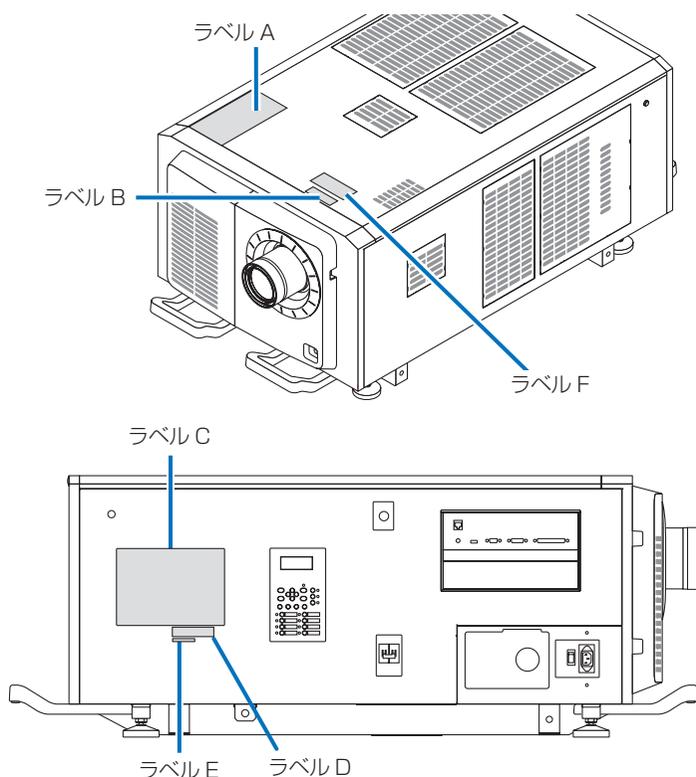
清掃に可燃性ガスのスプレーを使用しない



- ・ レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

本機の警告ラベル

・ NP-42HD/NP-NC2443ML/NP-NC2043ML/NP-NC1843ML



光源のレーザーモジュールについて

- ・ 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。
- ・ 本製品は、レーザー製品の安全基準 JIS C 6802: 2014、IEC 60825-1 3rd Edition: 2014 のクラス 1 に分類されています。
- ・ 本製品は、IEC/EN 62471-5 1st Edition: 2015 のリスクグループ 3 に分類されています。

内蔵されたレーザーの概要

波長：赤 635～647nm、青 450～470 nm

最大出力：赤 86 W、青 1,044 W

レンズ（保護筐体）から放出される放射パターン

波長：赤 635～647nm、青 450～470 nm

最大レーザー放射出力：赤 500mW、青 900 mW

レーザー製品の説明ラベルは、プロジェクター本体の天面に貼付されています。

クラス 1 レーザー製品

 注意 - リスクグループ 3 製品

ラベル A

Lamp Warning/Laser Explanatory Label (ランプ警告 / レーザー説明ラベル)



本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

ラベル B

Warning Label (警告ラベル / 開口ラベル)



ラベル C (NP-42HD)

NEC MODEL No. NP-42HD

C1: 200-240V ~ 50/60Hz 19.1A
 C2: 100-240V ~ 50/60Hz 7.0A for PJ POWER
 200-240V ~ 50/60Hz 15.6A for LIGHT POWER

XXXX XXXX
3264657203

TUV SUD, UL US LISTED, CE, A, ENEC, R41086 RoHS, DLT UL Japan, FC

Sharp NEC Display Solutions, Ltd. Contact address for EMEA Tegangan dan Frekuensi:
 4-28, Mita 1-chome, Minato-ku, Tokyo, Japan Sharp NEC Display Solutions Europe GmbH C1: 200-240V ~ 50/60Hz
 Landshuter Allee 12-14 C2: 100-240V ~ 50/60Hz PROJEKTOR CATU DAYA
 80637 Munich, Germany 200-240V ~ 50/60Hz (CAHAYA CATU DAYA)
 Produksi China

商品名稱: 放映機 型號: NP-42HD
 電源 / 額定輸入電流:
 C1: 200-240V ~ 50/60Hz, 19.1A
 C2: 100-240V ~ 50/60Hz, 7.0A (放映機 電源)
 200-240V ~ 50/60Hz, 15.6A (光 電源)
 生產國別: 中國

제품명: 프로젝터
 모델명: NP-42HD
 제조/국가: 델타 일렉트로닉스 (장수) 유한회사 / 중국
 입력전력:
 C1: 200-240V ~, 50/60Hz, 19.1A
 C2: 100-240V ~, 50/60Hz, 7.0A (프로젝터 전원)
 200-240V ~, 50/60Hz, 15.6A (및 전원)
 생산일: 일련번호에 표기
 인증 서비스 센터 전화 번호:
 080-022-1155 (호신ITX주식회사)
 *본 라벨과 전화번호는 국내 규정 내에서
 적절함 목적으 로만 사용되어야 합니다.

THIS CABINET IS CONSTRUCTED OF METAL(AI)

警告 高压注意
 警告: サービスマン以外の方は外装/パネルを外さないでください。内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。
 使用上の注意
 注意: 通風孔をふさがらないでください。内部温度の上昇を招き故障の原因になります。口、温度の高い場所や湿気が多い場所での使用はさけてください。

CAUTION: TO PREVENT ELECTRIC SHOCK, DO NOT OPEN TOP COVER. NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.
ATTENTION: Afin de prévenir un choc électrique, ne pas enlever le couvercle. S'adresser à un réparateur compétent.
ВНИМАНИЕ: ВО ИЗБЕЖАНИЕ УДАРА ЭЛЕКТРИЧЕСКИМ ТОКОМ НЕ ОТКРЫВАЙТЕ ВЕРХНИЮ КРЫШКУ. ВНУТРИ НЕТ ДЕТАЛЕЙ, ОБСЛУЖИВАЕМЫХ ПОЛЬЗОВАТЕЛЕМ.

주의: 전기충격 방지를 위해 캐비닛을 열지 마십시오. 내부에는 사용자를 위한 서비스가능 부품이 들어있지 않습니다.
 ACHTUNG: Zur Vermeidung eines elektrischen Schlages, öffnen Sie das Gehäuse nicht selbst. In diesem Gerät sind keine Teile enthalten, die vom Nutzer gewartet werden können. ZUR TRENNUNG VOM NETZ IST DER NETZSTECCKER AUS DER STECKDOSE ZU ZIEHEN!

注意: 請勿打開頂蓋，小心高壓電擊，機內並無用戶配件。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

警告使用者: 此為甲類資訊技術設備，於居住環境中使用時，可能會造成射頻擾動，在此種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

THIS DEVICE COMPLIES WITH PART 15 OF THE FCC RULES. OPERATION IS SUBJECT TO THE FOLLOWING TWO CONDITIONS:
 (1) THIS DEVICE MUST NOT CAUSE HARMFUL INTERFERENCE, AND
 (2) THIS DEVICE MUST ACCEPT ANY INTERFERENCE RECEIVED, INCLUDING INTERFERENCE THAT MAY CAUSE UNDESIRE OPERATION.
 CAN ICES-003(A)/NMB-003(A)

Проектор
 Модель: NP-42HD
 C1: 200-240В ~, 50/60Гц, 19.1А
 C2: 100-240В ~, 50/60Гц, 7.0А Проектор Мощность
 200-240В ~, 50/60Гц, 15.6А Света Мощность
 Сделано в Китае
 Производитель: Дельта Электроникс, Инк.

This product complies with performance standards for laser products under 21 CFR Part 1040 except with respect to those characteristics authorized by Variance Number 2015-V-3435 effective on April 7, 2016.

本機を安全にお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みください

ラベル C (NP-NC2443ML)

NEC MODEL No. NP-NC2443ML C1: 200-240V ~ 50/60Hz 19.1A
C2: 100-240V ~ 50/60Hz 7.0A for PJ POWER
200-240V ~ 50/60Hz 15.6A for LIGHT POWER

XXXX XXXX
326468403



Sharp NEC Display Solutions, Ltd., 4-28, Mita 1-chome, Minato-ku, Tokyo, Japan
MADE IN CHINA

Contact address for EMEA
Sharp NEC Display Solutions Europe GmbH
Landshuter Allee 12-14
80637 Munich, Germany

Tegangan dan Frekuensi:
C1: 200-240V ~ 50/60Hz
C2: 100-240V ~ 50/60Hz(PROYEKTOR CATU DAYA)
200-240V ~ 50/60Hz(CAHAYA CATU DAYA)
Produksi China

商品名: 放映機 型號: NP-NC2443ML
電源 / 額定輸入電流:
C1: 200-240V ~ 50/60Hz, 19.1A
C2: 100-240V ~ 50/60Hz, 7.0A (放映機 電源)
200-240V ~ 50/60Hz, 15.6A (光 電源)
生産國別: 中國

제품명: 프로젝터
모델명: NP-NC2443ML
제조사/국가: 델타 일렉트로닉스 (장수) 유한회사 / 중국
일련번호: ZU16002-3906 R-8-0V-NP-42HD
델타 일렉트로닉스 (장수) 유한회사 / 중국
일련번호: C1: 200-240V ~ 50/60Hz, 19.1A
C2: 100-240V ~ 50/60Hz, 7.0A (프로젝터 전원)
200-240V ~ 50/60Hz, 15.6A (빛 전원)
생산일: 일련번호에 표기
인증 서비스 센터 전화 번호: 080-022-1155 (고객 TX주선회사)
*본 라벨과 전화번호는 국내 규정 내에서 적절한 목적을 로만 사용되어야 합니다.

UK Sharp Electronics (Europe) Limited
4 Furzerground Way, Stockley Park, Uxbridge
Middlesex, UB11 1EZ, United Kingdom

THIS CABINET IS CONSTRUCTED OF METAL(AL)

警告	高压注意	使用上の注意 イ、通風孔をふさがないでください。内部温度の上昇を招き故障の原因になります。 ロ、温度の高い場所や湿気が多い場所での使用はさけてください。
-----------	-------------	---

CAUTION: TO PREVENT ELECTRIC SHOCK, DO NOT OPEN TOP COVER. NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.
ATTENTION: AFIN DE PREVENIR UN CHOC ELECTRIQUE, NE PAS ENLEVER LE COUVERCLE. S'ADRESSER A UN REPARATEUR COMPETENT.
ВНИМАНИЕ: ВО ИЗБЕЖАНИЕ УДАРА ЭЛЕКТРИЧЕСКИМ ТОКОМ НЕ ОТКРЫВАЙТЕ ВЕРХНИЮ КРЫШКУ.
ВНУТРИ НЕТ ДЕТАЛЕЙ, ОБСЛУЖИВАЕМЫХ ПОЛЬЗОВАТЕЛЕМ.
주의: 전기충격 방지를 위해 캐비닛을 열지 마십시오. 내부에는 사용자를 위한 서비스가능 부품이 들어있지 않습니다.
ACHTUNG: Zur Vermeidung eines elektrischen Schlags, öffnen Sie das Gehäuse nicht selbst. In diesem Gerät sind keine Teile enthalten, die vom Nutzer gewartet werden können. ZUR TRENNUNG VOM NETZ IST DER NETZSTECKER AUS DER STECKDOSE ZU ZIEHEN!

注意: 請勿打開頂蓋・小心高壓電擊・機內並無用戶配件・

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCA

警告使用者: 此為A類資訊技術設備。於居住環境中使用時, 可能會造成射頻擾動。在此種情況下, 使用者會被要求採取某些適當的對策。

THIS DEVICE COMPLIES WITH PART 15 OF THE FCC RULES. OPERATION IS SUBJECT TO THE FOLLOWING TWO CONDITIONS:
(1)THIS DEVICE MAY NOT CAUSE HARMFUL INTERFERENCE, AND
(2)THIS DEVICE MUST ACCEPT ANY INTERFERENCE RECEIVED, INCLUDING INTERFERENCE THAT MAY CAUSE UNDESIRABLE OPERATION. CAN ICES-003(A)/NMB-003(A)

Проектор
Модель: NP-NC2443ML
C1:200-240В ~, 50/60Гц, 19,1А
C2:100-240В ~, 50/60Гц, 7,0А Проектор Мощность
200-240В ~, 50/60Гц, 15,6А Света Мощность
Сделано в Китае
Производитель: Дельта Электроникс, Инк.

ラベル C (NP-NC2043ML)

NEC MODEL No. NP-NC2043ML C1: 200-240V ~ 50/60Hz 19.1A
C2: 100-240V ~ 50/60Hz 7.0A for PJ POWER
200-240V ~ 50/60Hz 15.6A for LIGHT POWER

XXXX XXXX
326468501



Sharp NEC Display Solutions, Ltd., 4-28, Mita 1-chome, Minato-ku, Tokyo, Japan
MADE IN CHINA

Contact address for EMEA
Sharp NEC Display Solutions Europe GmbH
Landshuter Allee 12-14
80637 Munich, Germany

Tegangan dan Frekuensi:
C1: 200-240V ~ 50/60Hz
C2: 100-240V ~ 50/60Hz(PROYEKTOR CATU DAYA)
200-240V ~ 50/60Hz(CAHAYA CATU DAYA)
Produksi China

商品名: 放映機 型號: NP-NC2043ML
電源 / 額定輸入電流:
C1: 200-240V ~ 50/60Hz, 19.1A
C2: 100-240V ~ 50/60Hz, 7.0A (放映機 電源)
200-240V ~ 50/60Hz, 15.6A (光 電源)
生産國別: 中國

제품명: 프로젝터
모델명: NP-NC2043ML
제조사/국가: 델타 일렉트로닉스 (장수) 유한회사 / 중국
일련번호: ZU16002-3906 R-8-0V-NP-42HD
델타 일렉트로닉스 (장수) 유한회사 / 중국
일련번호: C1: 200-240V ~ 50/60Hz, 19.1A
C2: 100-240V ~ 50/60Hz, 7.0A (프로젝터 전원)
200-240V ~ 50/60Hz, 15.6A (빛 전원)
생산일: 일련번호에 표기
인증 서비스 센터 전화 번호: 080-022-1155 (고객 TX주선회사)
*본 라벨과 전화번호는 국내 규정 내에서 적절한 목적을 로만 사용되어야 합니다.

UK Sharp Electronics (Europe) Limited
4 Furzerground Way, Stockley Park, Uxbridge
Middlesex, UB11 1EZ, United Kingdom

THIS CABINET IS CONSTRUCTED OF METAL(AL)

警告	高压注意	使用上の注意 イ、通風孔をふさがないでください。内部温度の上昇を招き故障の原因になります。 ロ、温度の高い場所や湿気が多い場所での使用はさけてください。
-----------	-------------	---

CAUTION: TO PREVENT ELECTRIC SHOCK, DO NOT OPEN TOP COVER. NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.
ATTENTION: AFIN DE PREVENIR UN CHOC ELECTRIQUE, NE PAS ENLEVER LE COUVERCLE. S'ADRESSER A UN REPARATEUR COMPETENT.
ВНИМАНИЕ: ВО ИЗБЕЖАНИЕ УДАРА ЭЛЕКТРИЧЕСКИМ ТОКОМ НЕ ОТКРЫВАЙТЕ ВЕРХНИЮ КРЫШКУ.
ВНУТРИ НЕТ ДЕТАЛЕЙ, ОБСЛУЖИВАЕМЫХ ПОЛЬЗОВАТЕЛЕМ.
주의: 전기충격 방지를 위해 캐비닛을 열지 마십시오. 내부에는 사용자를 위한 서비스가능 부품이 들어있지 않습니다.
ACHTUNG: Zur Vermeidung eines elektrischen Schlags, öffnen Sie das Gehäuse nicht selbst. In diesem Gerät sind keine Teile enthalten, die vom Nutzer gewartet werden können. ZUR TRENNUNG VOM NETZ IST DER NETZSTECKER AUS DER STECKDOSE ZU ZIEHEN!

注意: 請勿打開頂蓋・小心高壓電擊・機內並無用戶配件・

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCA

警告使用者: 此為A類資訊技術設備。於居住環境中使用時, 可能會造成射頻擾動。在此種情況下, 使用者會被要求採取某些適當的對策。

THIS DEVICE COMPLIES WITH PART 15 OF THE FCC RULES. OPERATION IS SUBJECT TO THE FOLLOWING TWO CONDITIONS:
(1)THIS DEVICE MAY NOT CAUSE HARMFUL INTERFERENCE, AND
(2)THIS DEVICE MUST ACCEPT ANY INTERFERENCE RECEIVED, INCLUDING INTERFERENCE THAT MAY CAUSE UNDESIRABLE OPERATION. CAN ICES-003(A)/NMB-003(A)

Проектор
Модель: NP-NC2043ML
C1:200-240В ~, 50/60Гц, 19,1А
C2:100-240В ~, 50/60Гц, 7,0А Проектор Мощность
200-240В ~, 50/60Гц, 15,6А Света Мощность
Сделано в Китае
Производитель: Дельта Электроникс, Инк.

レーザー光の放射範囲 / 侵入禁止範囲 (HD: Hazard distance)

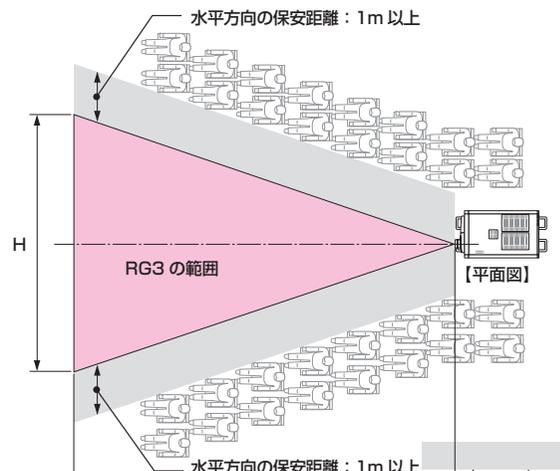
- ・ 下図の範囲は、IEC 62471-5 1st Edition 2015 にてリスクグループ 3 (RG3) に分類された投写光の範囲を表しています。
- ・ 設置時には下記事項を遵守してください。
 人の目が RG3 の領域内に侵入しないようにバリアを設けること。
 バリアは RG3 となる領域から水平距離 1m 以上の保安距離をとること。
 ただし、頭上に設置する場合は、床面と RG3 の領域の距離を 2m 以上確保すること。
 RG3 の領域内への侵入を制御するか、領域内では観客の目の暴露を防ぐ高さで本機を設置すること。

NP-42HD/NP-NC2443ML/NP-NC2043ML/NP-NC1843ML

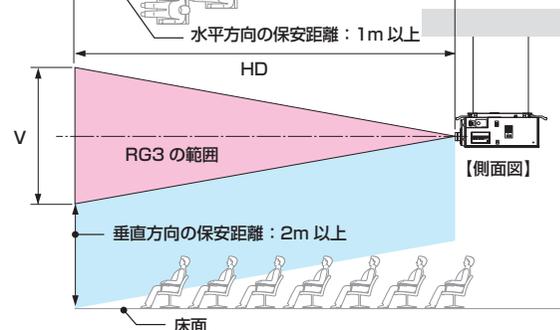
(IEC62471-5 First edition 2015)

レンズ		RG3 HD (m)	画面サイズ (m)	
			H	V
NC-60LS12ZW	Wide	1.5	1.27	0.67
	Tele	2.2	1.27	0.67
NC-60LS12Z	Wide	1.2	1.08	0.57
	Tele	2.2	1.26	0.66
NC-60LS14Z	Wide	1.7	1.26	0.67
	Tele	2.6	1.28	0.68
NC-60LS16Z	Wide	1.9	1.21	0.64
	Tele	3.3	1.35	0.71
NC-60LS19Z	Wide	2.3	1.17	0.61
	Tele	4.0	1.21	0.64
NC-60LS24Z	Wide	3.0	1.20	0.63
	Tele	4.9	1.22	0.65
NC-60LS39Z	Wide	5.0	1.24	0.65
	Tele	8.4	1.27	0.67

床置きまたはデスクトップ設置で投写する場合



天吊り設置で投写する場合



※レンズシフトをお使いの場合は、画面が移動します。シフト量も考慮してください。

注意

安全確保のため、以下の事項を遵守してください。

設置について

- ・ RG3 製品である本機は、業務用途であり安全が担保される設置が必要です。そのため設置やレンズユニットの取り付けおよび取り外しは、専門のサービスマンが行うことが義務付けられていますので、必ず販売店へご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。視力障害などの原因になります。
- ・ 危険回避のため、緊急時に AC 電源を遮断できるように、遮断器は手の届く範囲に設置すること。もしくは、プロジェクターを停止できるようなデバイス（ブレーカー）を設けること。
- ・ 前項の RG3 の領域へ人の目が入らないような安全処置を行うこと。
- ・ 設置する場所に適したレンズを選定し、レンズごとに設定された安全のための領域を確保する処置を適切に行うこと。
プロジェクターを動作させて光の調整作業などを行う際は、必ず適切な処置が完了してから行うこと。
- ・ 設置後にレンズごとに設定された安全確保の処置が適切に施行されているか妥当性の確認を行うこと。妥当性の確認は定期的を実施し、確認結果の記録を保管すること。
- ・ 機器管理者（オペレーター）に対して、安全に関する教育を機器使用前に必ず実施すること。

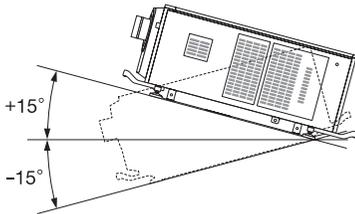
ご使用にあたって

- ・ 機器管理者（オペレーター）に対して、動作前点検（投写光に対する安全の確認を含む）を必ず実施するように指示すること。
- ・ 機器管理者（オペレーター）に対して、プロジェクター動作時には必ず機器管理者（オペレーター）が緊急時の対応が出来るような状態で管理するように指示すること。
- ・ 機器管理者（オペレーター）に対して、設置・調整説明書、取扱説明書、点検記録をいつでも参照できる場所へ保存・保管しておくよう指示すること。
各国、各地域の規制を遵守した状態であることを明確にしておくように指示すること。

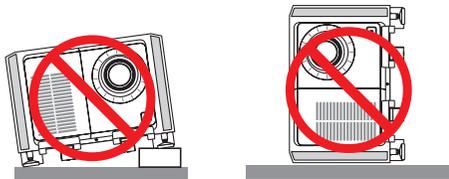
お願い

■性能確保のため、次の点にご留意ください。

- ・ 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- ・ 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- ・ 本機を長時間連続して使用される場合、たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
- ・ 本機を前後方向に傾けて使用する場合は、水平方向(+15° ~ -15°)の範囲で使用してください。範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると故障の原因となります。
前後方向に傾けて使用する場合には、水平方向の範囲を超えた状態で本機を使用すると、液晶画面に「TiltDegreeOver」と表示されます。このメッセージが表示された場合には、水平方向の範囲内の角度に設置状態を変更してください。



床置きで設置する場合



- ・ 本機を高地で使用する場合は、あらかじめ販売店にご相談ください。
- ・ 本機を高所（気圧の低い所）で使用すると、内部部品の交換時期が早まる場合があります。
- ・ スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。

- ・ スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- ・ プロジェクターの移動について
6人以上で、必ず本体前面と背面のハンドルおよび底面の手掛けを持って運んでください。その際、レンズユニットはプロジェクター本体から取り外してください。
また、プロジェクターに強い衝撃を与えないでください。
- ・ 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手をふれないでください。
また、本機を使用されないときは、レンズに添付のレンズキャップをかぶせておいてください。
- ・ 廃棄について
本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ AC 電源を遮断する際の注意

以下のような場合は本体への AC 電源の供給を遮断しないでください。

機器が故障するおそれがあります。

- ・ 投写中
- ・ Power On 中
- ・ Power Off したあとのクーリング中（ファンの回転中は < STATUS > インジケータがオレンジ色で点滅して、液晶画面に「Cooling...」と表示されます）。
・ IMB 使用時：180 秒
- ・ IMB 動作中（プロジェクター本体がスタンバイ状態になっていないとき）

■有線 LAN に関するご注意

本機の有線 LAN 端子は公衆回線（電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む）に直接接続することを意図して設計されていません。そのため有線 LAN 端子を公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

目次

はじめに	2
本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください ...	3
1. 添付品や名称を確認する	19
1-1. 特長	19
1-2. 添付品の確認	21
1-3. 各部の名称	22
2. 設置と接続	28
2-1. 設置と接続の流れ	28
2-2. 電源コードを接続する	29
2-3. 映像入力端子と接続する	34
2-4. 各種コントロール端子と接続する	34
3. 映像を投写する（基本操作）	35
3-1. 映像を投写する流れ	35
3-2. 本機の電源を入れる	36
3-3. 入力信号のタイトルを選択する	39
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する	40
3-5. 誤操作を防止する	44
3-6. 本機の電源を入れた状態で光源を点灯 / 消灯する	45
3-7. 本機の電源を切る	46
4. 調整メニュー	47
4-1. 調整メニューの基本操作	47
4-2. 調整メニュー一覧	52
4-3. Title Select	54
4-4. Configuration	54
4-5. Title Setup	57
4-6. Information	57

5. 本体のお手入れ	61
5-1. キャビネットの清掃.....	61
5-2. レンズの清掃.....	62
5-3. エアフィルターの清掃.....	62
6. 付 録	65
6-1. 故障かな？と思ったら.....	65
6-2. インジケータ表示一覧.....	66
6-3. HTTP を使用したブラウザによる操作.....	69
6-4. ログファイルの書き出し (Save Information).....	71
6-5. 外観図.....	74
6-6. 仕様.....	75
6-7. 端子のピン配列と機能.....	77
6-8. 関連商品一覧.....	84

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 特長

● DLP Cinema® プロジェクター

当社が培ってきた先端映像技術を駆使し、本機は米国業界団体 Digital Cinema Initiatives (DCI) の定める厳格な上映規格に適合しています。また、3D 投写やハイフレームレート (HFR) にも対応しています。

● 長寿命レーザー光源を採用

信頼性、冗長性に優れた新開発のレーザー光源を採用。レーザー光源は長寿命（約 30,000 時間）のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。また、光源が突然消灯して黒画面になる危険性を低減します。

● 設置面積の省スペース化と設置自由度の向上を実現

0.98" DVC4K チップ採用による 4K 高解像度の実現や、プロジェクター本体と光源を一体化することにより、設置面積の省スペース化を実現するとともに、外部排気ダクトへの接続が不要なことや床置き・天吊りの両方の設置方法に対応するなど、設置方法の自由度を向上させています。様々な設置方法に対応するため、本機には別売のオプションレンズが多種用意されています（本機の工場出荷時はレンズが装着されていません）。

● 使い勝手を重視した機能を搭載

(1) ワンタッチで調整した設定を使用できるレンズメモリー機能・ライトメモリー機能を搭載

入力信号ごとにレンズのズーム位置やシフト位置を保存できるレンズメモリー機能と、明るさの設定を保存できるライトメモリー機能を搭載しています。画面サイズや明るさの設定が異なる入力信号を複数上映する場合でも信号を選択するだけで、あらかじめ調整した設定を使用して投写できます（レンズメモリー機能対応レンズについては、「6-9. 関連商品一覧」(84 ページ) をご覧ください）。

(2) 光源の明るさや色を一定にする自動調整機能を搭載

光源の使用時間が経過するとともに起こる明るさ低下や色変化を最小限にすることができます（明るさの変動を抑えられる時間は、明るさの設定により異なります）。

1. 添付品や名称を確認する

(3) よく使うタイトルをプリセットボタンに登録可能

登録したタイトル（入力信号）を簡単に選択できるように8個のプリセットボタンを搭載しました。本機は最大100件のタイトルを登録できます。100件のうち任意の16タイトルをプリセットボタンに割り当てることができます。

(4) コンピューターから、ネットワーク経由でプロジェクターの操作や設定が可能

当社が配布しているソフトウェア“Digital Cinema Communicator (DCC)v2.”を使用して、コンピューターからネットワーク経由でプロジェクターの操作や設定をすることができます。

● 優れた防塵性能

光学部品の冷却に、循環冷却システムを採用しています。密閉構造内部で温風を冷風に換えて循環させるため、外気が光学部品に触れません。ほこりや塵などによる光学部品の汚れを防いで、明るさを維持します。

※ ただし、完全に遮断することはできません。

● メタルフィルター採用によるランニングコスト削減

金属製フィルターの採用により、定期的な清掃を行うことで、フィルターを交換することなく繰り返し使用できます。

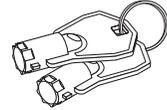
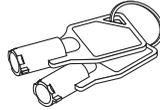
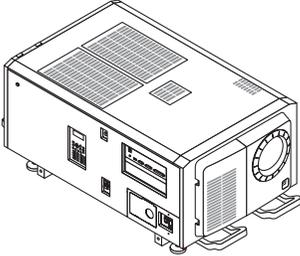
それによりランニングコストを削減するとともに、使用済みフィルターを廃棄する必要もなく、環境への配慮も実現しています。

1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

1-2-1 プロジェクター本体の添付品

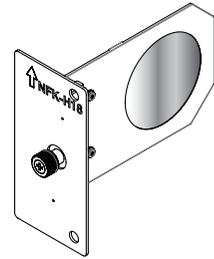
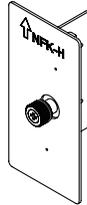
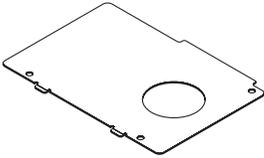
- プロジェクター本体（本機）
- サービスドア用キー 2 個
- 管理者用キー 2 個



- AC プレート φ 35

- NFK-H

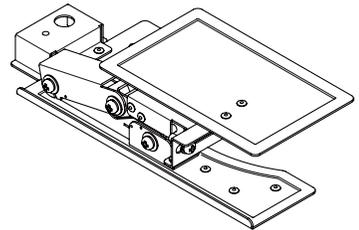
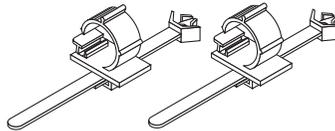
- NFK-H18 *1



- M5 × L20 ライトモジュール固定用ネジ 2 個 *2

- 電源コードストッパー

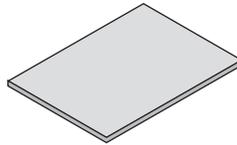
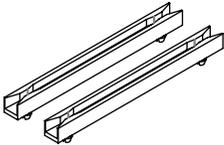
- フロントレンズシャッター



- ガイドレール 2 個

- Important Information

- 保証書



*1 NP-NC1843ML は、NFK-H24

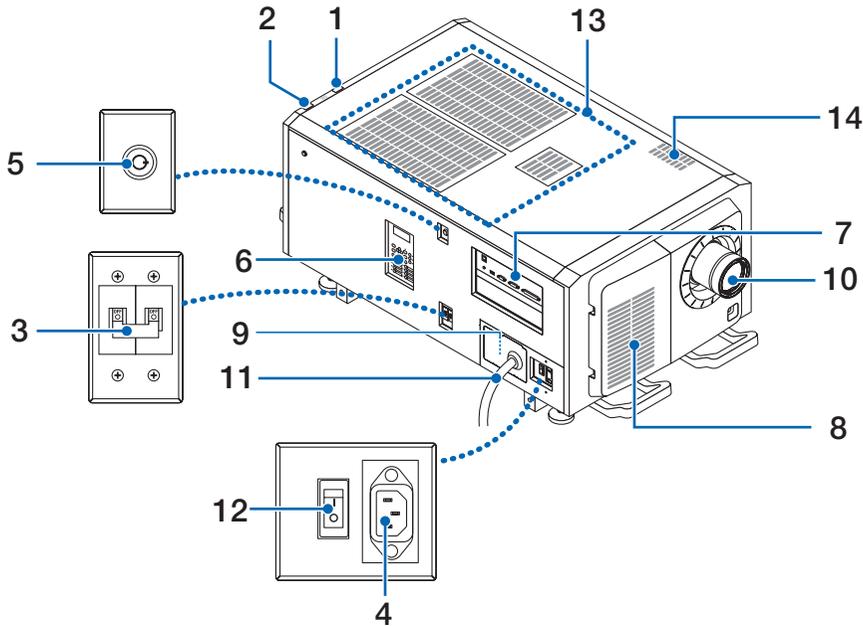
*2 NP-42HD のみ

参考

万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 各部の名称

1-3-1. 本体前面



1 LIGHT ステータスインジケータ

光源の状態を表示します。光源が点灯しているときは点灯、消灯しているときは消灯します (☞ 68 ページ)。

2 SYSTEM ステータスインジケータ

本機の状態を表示します。正常に動作しているときは緑色またはオレンジ色で点灯／点滅します。異常がある場合は赤色で点灯／点滅します。異常の場合は、液晶表示画面の表示内容を確認してください (☞ 68 ページ)。

3 光源電源スイッチ

AC 電源を供給した状態で、主電源スイッチを「|」(ON) にすると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

4 AC IN 端子

AC 電源コードを接続します。AC 電源コードは添付されていません。AC コードについては、販売店にご相談ください。

5 管理者用スイッチ

管理者用キーを水平方向に差し込んで、時計回りに垂直方向に回すとプロジェクターを正常動作させることができます。このとき管理者用キーは抜けなくなります。管理者用キーが取り付けられていない場合は、本機は起動しません。

6 本体操作部

プロジェクターの電源の入／切や、タイトル選択、投写した画面の各種調整を行います (☞ 26 ページ)。

7 接続端子部

各種映像信号のケーブルなどを接続します (☞ 25 ページ)。

別売のオプションボードを装着することにより、信号入力端子を拡張できます。別売のオプション製品については、お買い上げの販売店にご相談ください。

8 吸気口

プロジェクター内部の温度を下げるための外気吸気口です。ふさがないでください。

ほこりの侵入を防ぐため、吸気口にはエアフィルターが取り付けられています。

9 リモートインターロック端子 (本体側面内部)

本機でレーザーを安全に使用するための端子です。外部から本機のレーザー照射を制御するときに使用します。ご使用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

10 レンズ (別売品)

ここから映像が投写されます。レンズの取り付け、および交換については、お買い上げの販売店にご依頼ください。

11 AC 電源コード

プロジェクター本体に AC 電源を供給するコードです。AC 電源コードの接続についてはお買い上げの販売店にご依頼ください。

12 プロジェクター電源スイッチ

AC 電源を供給した状態で、光源電源スイッチ、プロジェクター電源スイッチを ON にすると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

13 吸気口

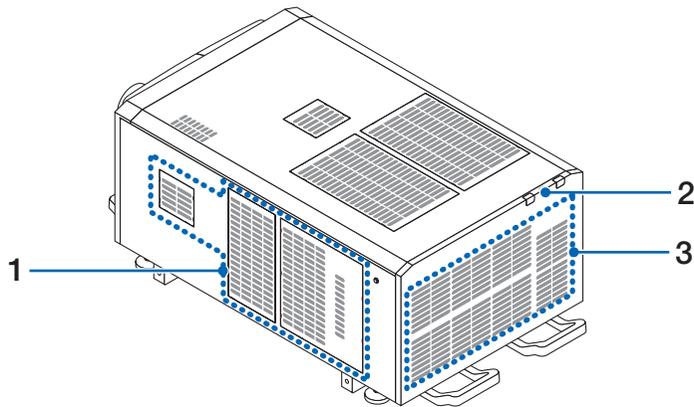
プロジェクター内部の温度を下げるための外気吸気口です。ふさがないでください。ほこりの侵入を防ぐため、吸気口にはエアフィルターが取り付けられています。

14 排気口

プロジェクター内部の熱を排気します。ふさがないでください。

注意 動作中は吸気口および排気口をふさがないでください。吸気および排気が不十分な場合、内部の温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

1-3-2. 本体背面



1 吸気口

プロジェクター内部の温度を下げるための外気吸気口です。ふさがないでください。

2 ブザー（本体背面内部）

エラー発生時にブザー音が鳴ります。

3 排気口

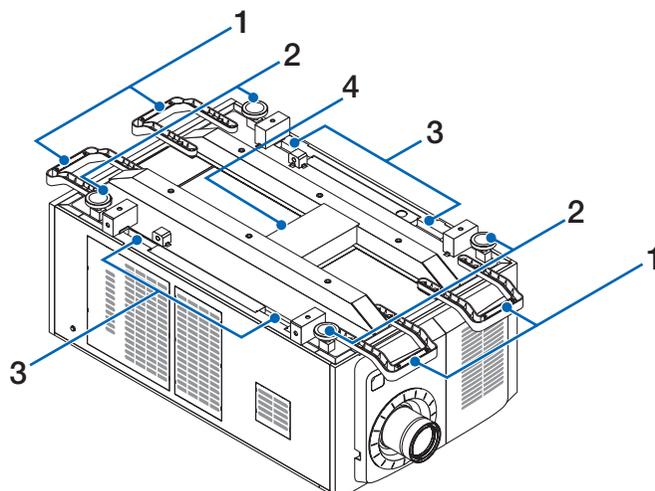
プロジェクター内部の熱を排気します。ふさがないでください。

注意

- ・使用中は排気口および本体後部に触らないでください。高温になっており、やけどの原因となることがあります。
- ・動作中は吸気口および排気口をふさがないでください。吸気および排気が不十分な場合、内部の温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

1. 添付品や名称を確認する

1-3-3. 本体底面



1 ハンドル（4箇所）

プロジェクター移動用のハンドルです。

2 アジャスター（4箇所）

通常設置の際に、プロジェクターの傾きを4箇所で調整することができます。

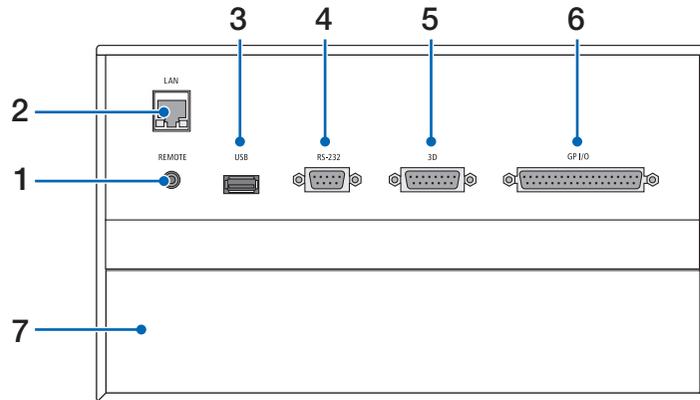
3 手掛け

プロジェクター移動用の手掛けです。

4 排気口

プロジェクター内部の熱を排気します。ふさがないでください。

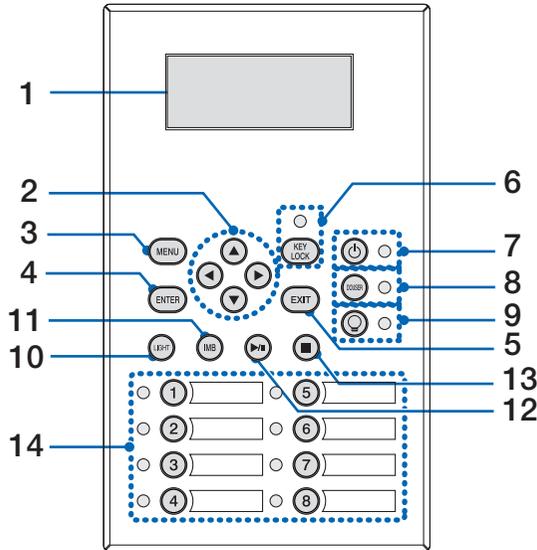
1-3-4. 接続端子部



- 1 サービス専用端子 (REMOTE) (ステレオ・ミニ)
サービスマンが本機を操作するとき 사용합니다。
- 2 LAN ポート (LAN) (RJ-45)
映像信号用サーバとのインターフェイスとして、またはコンピューターからプロジェクターを LAN 接続で制御する場合に 사용합니다。プロジェクターとコンピューターを市販の LAN ケーブル (10/100/1000Base-T) で接続します。
- 3 USB ポート (USB) (タイプ A)
プロジェクターのメンテナンスの際に 사용합니다。
- 4 PC コントロール端子 (RS-232) (D-Sub 9P)
コンピューターから RS-232C で本機を操作するときや、サービスマンがプロジェクターの設定を行うときに 사용합니다。プロジェクターとコンピューターを市販の RS-232C ストレートケーブルで接続します。
- 5 3D 端子 (3D) (D-Sub 15P)
本機に 3D 映像システムを接続するとき 사용합니다 (▶ 83 ページ)。
- 6 外部コントロール端子 (GP I/O) (D-Sub 37P)
本機を外部からコントロールするときや、本機に 3D 映像システムを接続するとき 사용합니다 (▶ 78 ページ)。
- 7 スロット
IMB を装着できます。IMB の装着については、お買い上げの販売店にご相談ください。
IMB については、IMB の取扱説明書をご覧ください。

1. 添付品や名称を確認する

1-3-5. 本体操作部



1 液晶表示画面

プロジェクターの操作を行う際のメニューや設定値を表示します。

2 <▲/▼/◀/▶> (<UP/DOWN/LEFT/RIGHT>) ボタン

メニューを表示しているときにボタンを押すと、メニュー項目を選択できます。

3 <MENU> ボタン

各種設定・調整のメニューを表示します (▶ 51 ページ)。

4 <ENTER> ボタン

<ENTER> ボタンを押すと、選択しているメニュー項目を決定します。

5 <EXIT> ボタン

<EXIT> ボタンを押すと、1 つ前のメニュー項目に戻ります。

6 <KEY LOCK> ボタン

誤操作を防ぐため、本体操作部のボタンをロック (KEY LOCK) します。KEY LOCK が有効な場合、本体操作部のボタンを押しても機能しません。

KEY LOCK が解除された状態で <KEY LOCK> ボタンを 1 秒以上押すと、KEY LOCK が有効になります。

KEY LOCK が有効な状態で <KEY LOCK> ボタンを 1 秒以上押すと、KEY LOCK が解除されます (▶ 44 ページ)。

注意

初期設定ではスタンバイ状態で 30 秒間、本体操作部を操作しないと、自動的に KEY LOCK が有効になります。
(▶ 44 ページ)

7 ㊤ ボタン (電源ボタン)

プロジェクターの電源を入/切 (スタンバイ状態) します。3 秒以上押してください (▶ 67 ページ)。

プロジェクターの電源を入れる際は、主電源スイッチを ON にして、スタンバイ状態にしてください (▶ 36 ページ)。

8 <DOUSER> ボタン

<DOUSER> ボタンを押すと、ダウザーの開閉を行います (▶ 67 ページ)。

9 ㊤ ボタン (LIGHT ON/OFF ボタン)

本機の電源が入った状態で、光源を点灯/消灯できます。3 秒以上押してください (▶ 45 ページ)。

10 <LIGHT> ボタン

光源の調整メニューを表示します (▶ 43 ページ)。

11 <IMB> ボタン (今後のアップデートで対応予定)

本機に IMB が装着されているときに使用できます。

<IMB> ボタンを押すと、IMB の操作メニューを表示します。

12 <再生 / 一時停止> ボタン (今後のアップデートで対応予定)

本機に IMB が装着されているときに使用できます。

<再生 / 一時停止> ボタンを押すと、映像コンテンツを再生 / 一時停止できます。

13 <停止> ボタン (今後のアップデートで対応予定)

本機に IMB が装着されているときに使用できます。

<停止> ボタンを押すと、映像コンテンツの再生を停止できます。

14 プリセットボタン

プリセットボタンを押すと、各ボタンに割り当てられたタイトル (入力信号) を選択できます。本機は 100 件のタイトル登録 (入力信号の登録) が可能で、登録したタイトルのうち任意の 16 件をプリセットボタンに割り当てることができます。タイトルの登録、変更については販売店にご依頼ください。

プリセットボタンのインジケータは、タイトルの割り当て / 選択状態を表示します (▶ 66 ページ)。

参考

プリセットボタンに登録したタイトルを選択する場合、次のように操作してください。

プリセットボタン 1 ~ 8 に登録したタイトルを選択する

プリセットボタンの番号に対応したボタン (<1> ~ <8> ボタン) を押します。

・ <1> ボタンを押す：プリセットボタン 1 を選択します。

・ <8> ボタンを押す：プリセットボタン 8 を選択します。

プリセットボタン 9 ~ 16 に登録したタイトルを選択する

<UP> ボタンを押しながら、プリセットボタン (<1> ~ <8> ボタン) を押します。

・ <UP> ボタンを押しながら <1> ボタンを押す：プリセットボタン 9 を選択します。

・ <UP> ボタンを押しながら <8> ボタンを押す：プリセットボタン 16 を選択します。

2.

設置と接続

2-1. 設置と接続の流れ

プロジェクターを設置する場合は、次の流れで行います。

●**ステップ1**

スクリーンとプロジェクターを設置する（→お買い上げの販売店にご依頼ください）

●**ステップ2**

電源コードを接続する（[▶ 29 ページ](#)）

●**ステップ3**

映像入力端子と接続する（[▶ 34 ページ](#)）

各種コントロール端子と接続する（[▶ 34 ページ](#)）

2-2. 電源コードを接続する

電源コードの接続工事は、販売店にご依頼ください。

プロジェクター電源と光源電源へ AC 電源を 1 本の電源ケーブルで供給する場合 (C1 接続の場合)、プロジェクター電源への電源コードの接続は不要です。

本機には電源コードは添付していません。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用してください。電源コードの選定および手配は、販売店にご依頼ください。



警告

接続する前に、この節に記載された内容をよくお読みのうえ、正しい手順で接続してください。誤った取り扱いをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



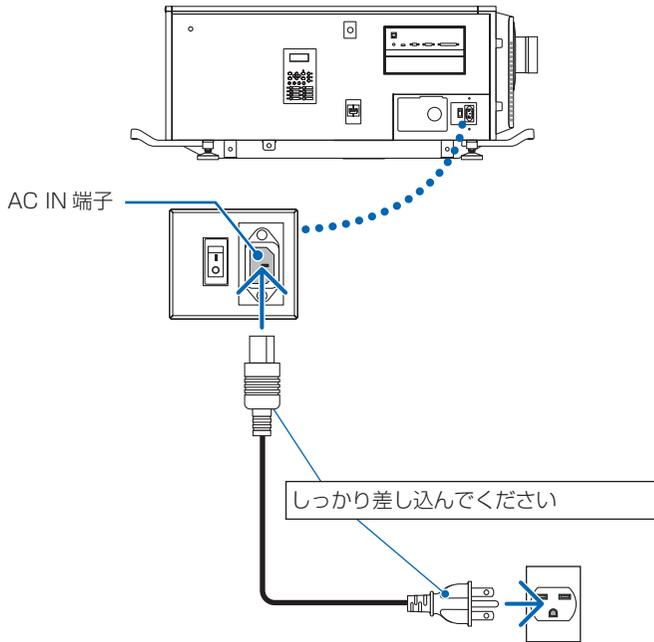
警告

- ・電源コードの接続工事は、販売店にご依頼ください。お客様による取り付けは絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。
- ・電源コードを接続するときは、本機のプロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチが OFF になっていることを確認し、AC 電源を遮断した状態で行ってください。
- ・機器の安全確保のため、使用する国の規格および電源電圧に適合する電源コードを使用して、機器のアースを必ず接続してください。アースが接続されていないと感電の原因となります。
- ・電源コードのプラグを AC IN 端子およびコンセントに接続するときは、奥までしっかり差し込んでください。
- ・C2 接続の場合、電源コードストッパーを必ず取り付けてください。電源コードのプラグとコンセントの接続がゆるいと、プラグ部分が発熱し、やけどや事故の原因となることがあります。
- ・本機は電源コードのアース端子をアースに接続することを前提に設計されている 3 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードは、3 芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。2 芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。

2. 設置と接続

1 AC 電源コードをプロジェクターの AC IN 端子に接続する。

しっかりと奥まで差し込んでください。



2 電源プラグをコンセントに接続する。

これで、AC 電源コードの接続は完了です。

電源コードストッパーの取り付け

本体側の電源プラグが抜け落ちないように、添付の電源コードストッパーを使って固定します。



注意

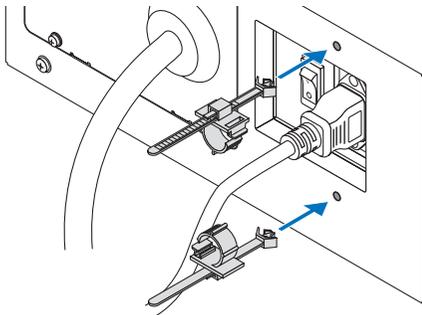
- 本機の AC IN 端子に電源コードを接続する際はプラグを奥までしっかり挿し込み、必ず電源コードストッパーを使って固定してください。電源コードの接続が緩むと、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードを束ねて（丸めて）固定しないでください。コードが発熱して火災の原因となるおそれがあります。



- ・ 他の信号ケーブルと一緒にクランプしないでください。信号ケーブルにノイズの影響を与えるおそれがあります。
- ・ 電源コードストッパーを本体に取り付けると、取り外しできません。

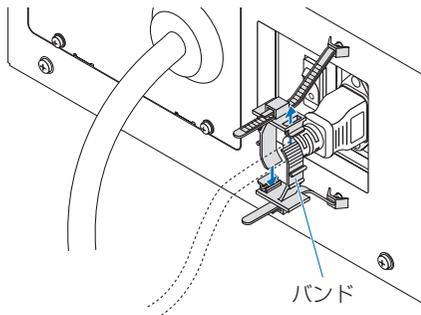
1 クランパー部のバンドを電源コード側の向きにして、電源コードストッパーの先端をプロジェクター本体の取り付け穴に合わせて、押し込む。

反対側も同様に、電源コードストッパーを取り付けます。



2 電源コードストッパーのスリットに互いのバンドを通す。

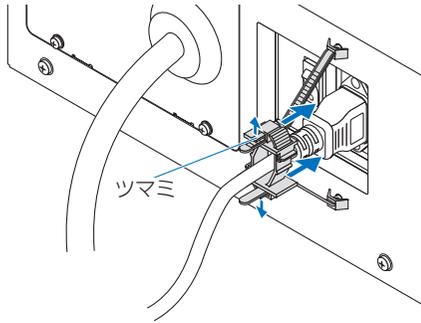
電源コードを左右に挟むようにバンドを通してください。



2. 設置と接続

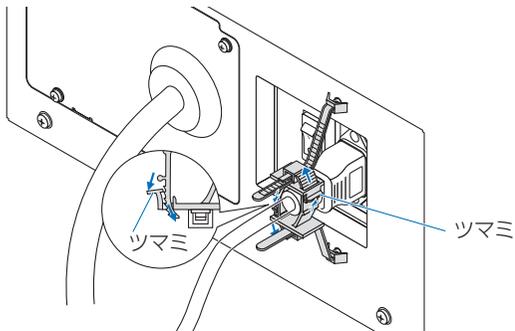
3 電源コードの根元までクランパー部をスライドさせる。

矢印の方向にツマミを引くと、クランパーの位置を調整できます。
クランパー部の位置を調整したら、ツマミを離してクランパー部を固定します。



4 バンドを引き、電源コードを固定する。

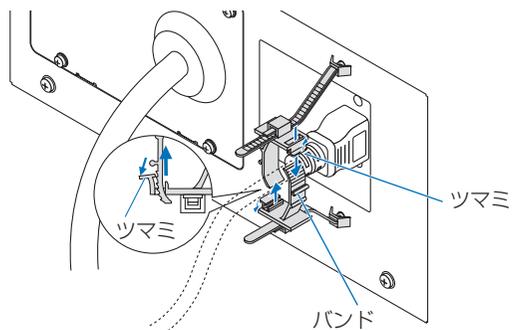
矢印の方向にツマミを引くと、バンドの位置を調整できます。
上下のバンドはバランスよく引いてください。
バンドの位置を調整したら、ツマミを離して固定します。



これで、電源コードストッパーの取り付けは完了です。

電源コードの取り外し

クランプ部のツマミを引き、互いのバンドを外す。



注意

電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

2-3. 映像入力端子と接続する

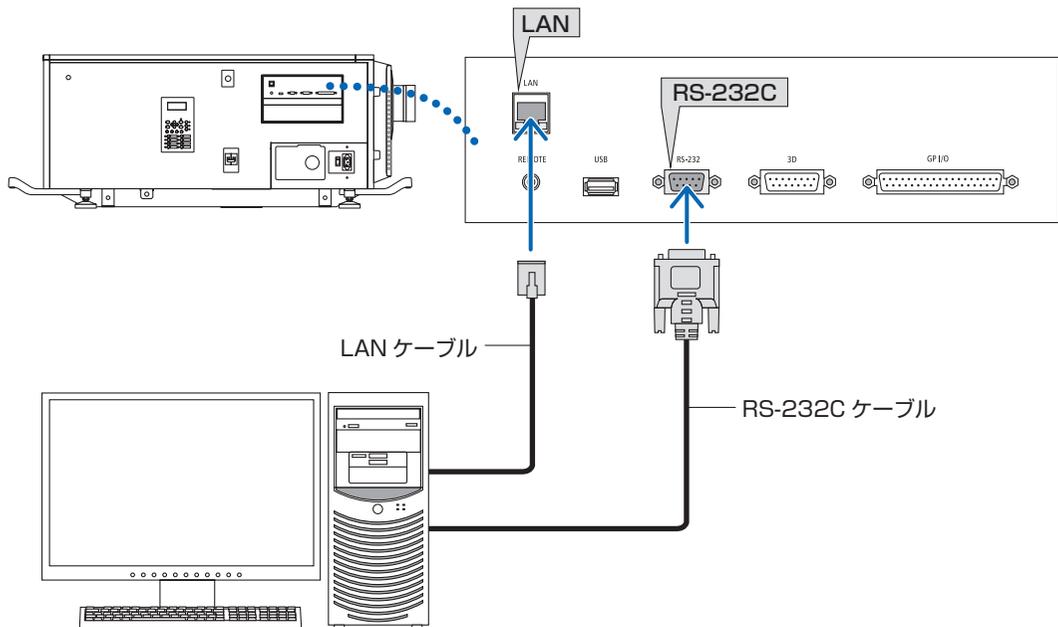
IMB で使用できる映像入力端子は次のとおりです。映像入力端子と外部機器との接続については、IMB の取扱説明書をご覧ください。

IMB	HDMI 入力端子	x 1
	3G SDI 入力端子	x 2

2-4. 各種コントロール端子と接続する

プロジェクターには、コントロール用として、PC コントロール端子、LAN ポート (RJ-45) などがあります。

- PC コントロール端子 (RS-232) コンピューターからプロジェクターをシリアル接続で制御する場合に使用します。
- LAN ポート (LAN) コンピューターからプロジェクターを LAN 接続で制御する場合に使用します。



3.

映像を投写する（基本操作）

3-1. 映像を投写する流れ

●ステップ1

プロジェクターの電源を入れる (▶ 36 ページ)

●ステップ2

入力信号のタイトルを選択する (▶ 39 ページ)

●ステップ3

投写画面の位置と大きさを調整する (▶ 40 ページ)

●ステップ4

プロジェクターの電源を切る (▶ 47 ページ)

3-2. 本機の電源を入れる



警告

プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、プロジェクター本体の側面または背面（侵入禁止範囲（HD）の外）で操作してください。また、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。



注意

- 調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。
- レンズシフト動作中は、レンズユニット取り付け部の周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズユニットの隙間に指を挟むおそれがあります。

準備： ・電源ケーブルをプロジェクター（[▶29 ページ](#)）接続します。
・プロジェクター本体に AC 電源を供給します。

重要

- プロジェクターに AC 電源を供給または遮断する場合は、主電源スイッチが OFF の状態で行ってください。主電源スイッチが ON の状態で電源の供給／遮断を行うと、故障の原因となります。
- プロジェクターの電源の入／切は、「主電源スイッチ」と「<POWER> ボタン」の 2 段階の操作で行います。

●電源を入れる（[▶このページ](#)）

- プロジェクター本体の「主電源スイッチ」を ON にする。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。
- KEY LOCK が有効な場合、<KEY LOCK> ボタンを 1 秒以上押す。
KEY LOCK が解除され、本体操作部のボタンを操作できるようになります。
- <POWER> ボタンを 3 秒以上押す。
プロジェクターの電源が入ります。

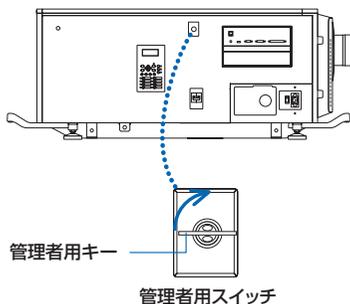
●電源を切る（[▶46 ページ](#)）

- <POWER> ボタンを 3 秒以上押す。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。
- プロジェクター本体の「主電源スイッチ」を OFF にする。
プロジェクターの電源が切れます。

1 レンズキャップを外す。

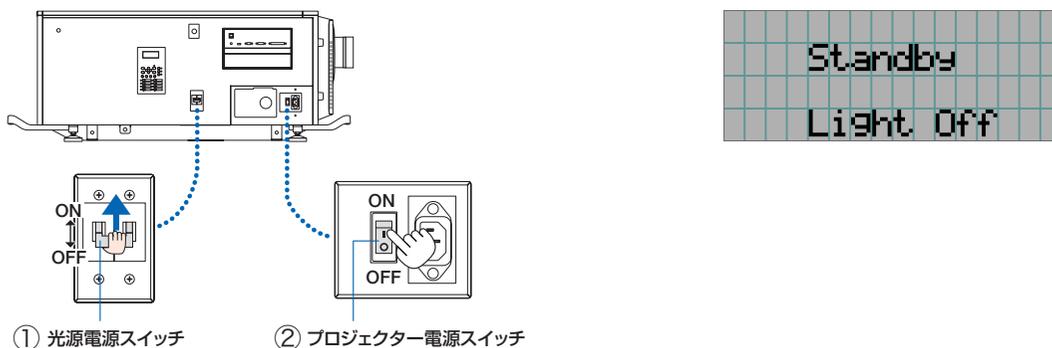
2 管理者用スイッチに管理者用キーを水平方向に差し込んで、時計回りに垂直方向に回す。

管理者用キーは抜けなくなります。管理者用キーを取り付けていない状態では起動しません。



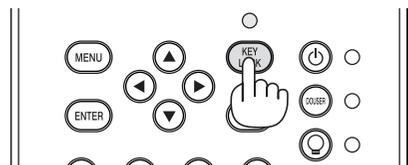
3 プロジェクター本体側面にある電源スイッチを、光源電源スイッチ ([1])、プロジェクター電源スイッチ ([2]) の順に ON にする。

プロジェクターのブザーが鳴り、<POWER> ボタンのインジケータが緑色に点滅し、SYSTEM ステータスインジケータがオレンジ色で点灯します（スタンバイ状態）。初期設定では、スタンバイ状態で 30 秒間、本体操作部を操作しないと、自動的に KEY LOCK が有効になります。KEY LOCK が有効な場合、本体操作部のボタンを押しても機能しません（▶ 44 ページ）。



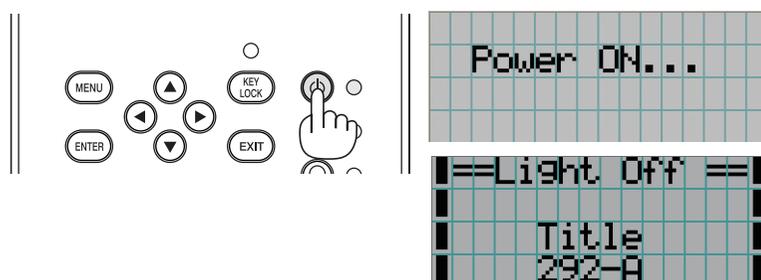
4 KEY LOCK が有効な場合、<KEY LOCK> ボタンを 1 秒以上押す。

KEY LOCK が解除されます。<KEY LOCK> ボタンのインジケータが消灯して、本体操作部のボタンを操作できるようになります（▶ 44 ページ）。



5 本体操作部の <POWER> ボタンを 3 秒以上押す。

プロジェクターの電源が入ります。



プロジェクターの起動が完了すると、<POWER> ボタン、<DOUSER> ボタン、<LIGHT ON/OFF> ボタンおよびプリセットボタン (<1> ~ <8> ボタン) のインジケータが以下のように変化します。

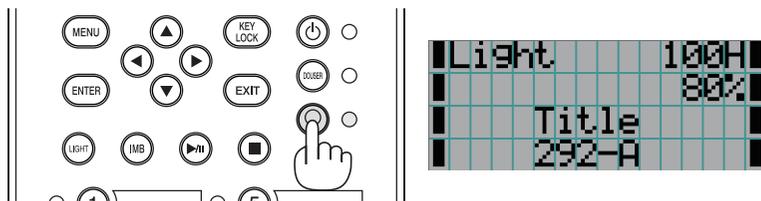
<POWER> ボタン	緑色で点灯
<DOUSER> ボタン	初期設定：消灯（ダウザー OFF）
<LIGHT ON/OFF> ボタン	初期設定：緑色で点滅（光源 OFF）
<1> ~ <8> ボタン	最後に選択したプリセットボタンが緑色で点灯

3. 映像を投写する（基本操作）

6 本体操作部の <LIGHT ON/OFF> ボタンを 3 秒以上押す。

光源が点灯し、約 15 秒後にスクリーンが明るくなります。<LIGHT ON/OFF> ボタンのインジケータが緑色で点滅（2 回周期）します（90 秒後、点灯（緑色）に変わります）。

スクリーンが明るくなるまでの間、ダウザーが閉じます（<DOUSER> ボタンのインジケータが緑色で点灯します）。ダウザーが開くと、<DOUSER> ボタンのインジケータが消灯します。



注意

- ・ プロジェクターの電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。高温になりレンズキャップが変形する場合があります。
- ・ 次のような場合は、<POWER> ボタンを押しても電源が入りません。
 - ・ 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
 - ・ 電源を入れても光源が点灯せず、SYSTEM ステータスインジケータが赤色で点滅している場合は、プロジェクターが故障している可能性があります。液晶画面のエラー表示を確認し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

3-3. 入力信号のタイトルを選択する

本機では、あらかじめ登録したタイトル（入力信号）を本体操作部のプリセットボタンから選択することができます（最大16タイトルまで）。タイトルの登録、変更については販売店にご依頼ください。ここでは登録されたタイトルを選択する手順について説明します。

1 プロジェクターに接続している映像機器などの電源を入れる。

2 <MENU> ボタンを押す。

3 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「Title Select」を表示する。

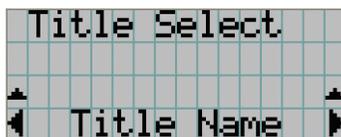
<LEFT/RIGHT> ボタンを押すと、「Title Select」 ↔ 「Configuration」 ↔ 「(Title Setup)」 ↔ 「Information」と表示が変わります。



4 <DOWN> ボタンを押す。

入力信号のタイトルが表示されます。

・間違えて選択した場合は、<UP> ボタンを押してください。1 つ前のメニューに戻ります。

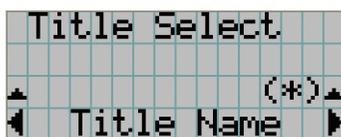


5 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に“投写する信号のタイトル”を表示する。

6 <ENTER> ボタンを押す。

投写する信号のタイトルが選択されます。

・液晶画面に表示されている（*）印は、現在選択されている項目であることを表しています。

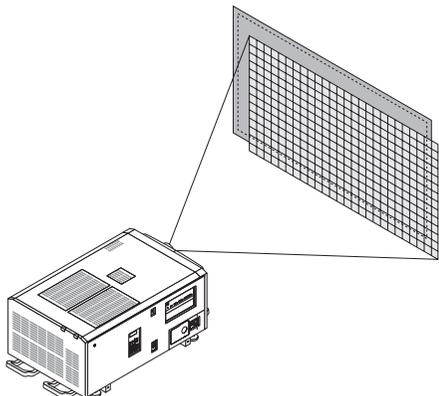


3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

3-4-1. テストパターンの表示

- 1** <MENU> ボタンを押す。または、プリセットボタン（<1>～<8> ボタン）からテストパターンを選択する。

プリセットボタン（<1>～<8> ボタン）にテストパターンを登録している場合は、「3-3. 入力信号のタイトルを選択する（[39 ページ](#)）」に従ってテストパターンを選択します。



- 2** <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「Title Select」を表示する。



- 3** <DOWN> ボタンを押す。
入力信号のタイトルが表示されます。



- 4** <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「TEST Pattern」を表示する。

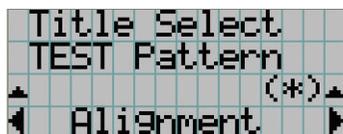
- 5** <DOWN> ボタンを押す。
テストパターンを選択するモードになります。



- 6** <LEFT/RIGHT> ボタンを押す。
液晶画面のテストパターン名表示が切り替わります。

7 投写するテストパターン名を液晶画面に表示して、<ENTER> ボタンを押す。

テストパターンが表示されます。



テストパターンの表示を解除する場合は、投写する信号のタイトルを選択するか、テストパターン「OFF」を選択します。



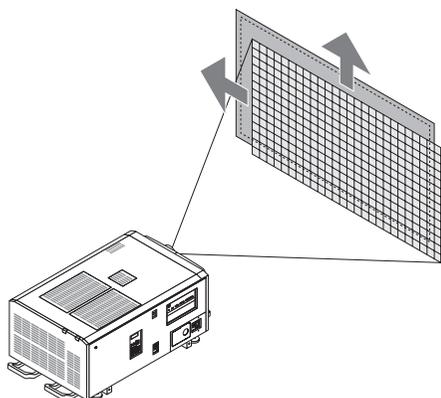
3-4-2. 投写画面の位置の調整（レンズシフト）

1 <MENU> ボタンを押す。**2** <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「Configuration」を表示する。**3** <DOWN> ボタンを押す。**4** <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「Lens Control」を表示する。**5** <DOWN> ボタンを押す。

投写画面の位置の調整画面（「Lens Position」）が表示されます。

**6** <UP/DOWN/LEFT/RIGHT> ボタンを押す。

投写画面の位置が上下左右に移動します。

**7** 調整が完了したら、<EXIT> ボタンを押す。

1つ上の階層（「Lens Control」が表示されている画面）に戻ります。

3. 映像を投写する（基本操作）

3-4-3. 投写画面の大きさの調整（ズーム）、フォーカス調整（フォーカス）

- 1 <MENU> ボタンを押す。
- 2 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「Configuration」を表示する。
- 3 <DOWN> ボタンを押す。
- 4 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、液晶画面に「Lens Control」を表示する。
- 5 <DOWN> ボタンを押す。

投写画面の位置の調整画面（「Lens Position」）が表示されます。



- 6 <ENTER> ボタンを押す。

投写画面の大きさ、フォーカスの調整画面が表示されます。

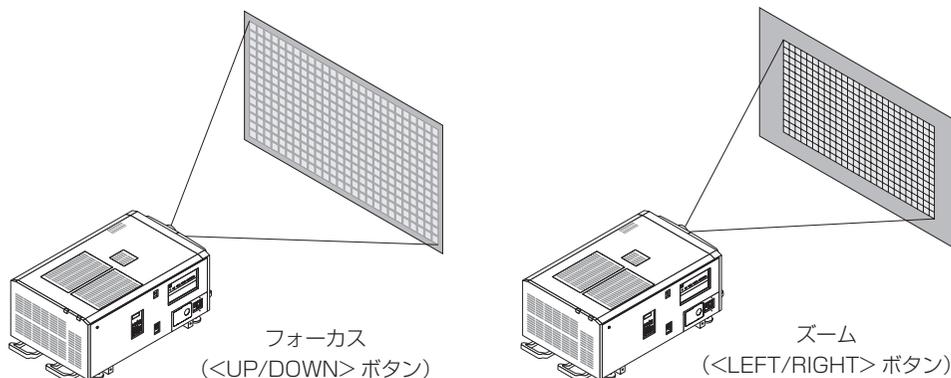
<ENTER> ボタンを押すと、調整画面（「Lens Position」、「Focus Zoom」）を切り替えられます。



- 7 投写画面の大きさ、フォーカスを調整する。

<UP/DOWN> ボタンを押すと、フォーカスを調整できます。

<LEFT/RIGHT> ボタンを押すと、投写画面の大きさを調整できます。



- 8 調整が完了したら、<EXIT> ボタンを押す。

1つ上の階層（「Lens Control」が表示されている画面）に戻ります。

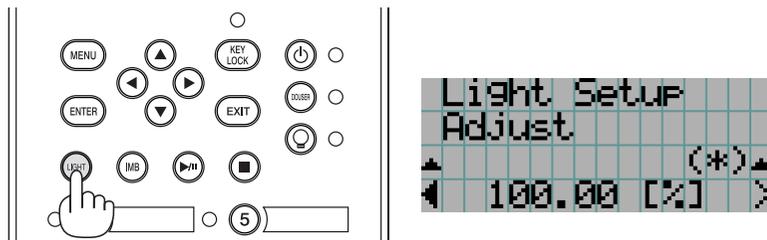
3-4-4. 投写画面の明るさ調整（光源の出力）



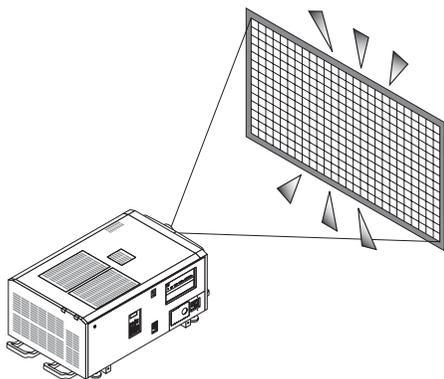
室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、光源の出力が自動的に下がることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「温度保護モード」と呼びます。温度保護モードになると、画面が少し暗くなります。温度保護モードを解除するには、光源の出力を調整してください。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

1 <LIGHT> ボタンを押す。

光源の出力調整画面が表示されます。


2 <LEFT/RIGHT> で光源の出力を調整する。

設定した調整値が適用されます。



3. 映像を投写する（基本操作）

3-5. 誤操作を防止する

誤操作を防ぐため、本体操作部のボタンをロック（KEY LOCK）できます。KEY LOCK が有効な場合、本体操作部のボタンを押しても機能しません。操作するためには、KEY LOCK を解除する必要があります。

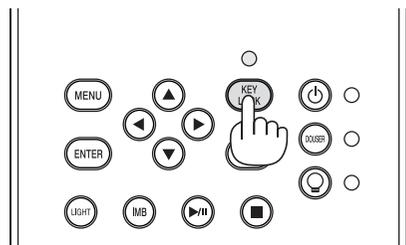
重要

- ・ 次の場合は、自動的に KEY LOCK が有効になります。
 - ・ 本機に AC 電源を供給している状態で、主電源スイッチをオンにして、スタンバイ状態になったとき。
 - ・ <POWER> ボタンで本機の電源を切り、スタンバイ状態になったとき。
- ・ 本機がスタンバイ状態になったときに KEY LOCK が有効になるタイミングは、調整メニューの「Auto Key Lock」の設定により異なります。
 - ・ Auto Key Lock が有効（Enable）な場合、スタンバイ状態になってから 30 秒間、本体操作部を操作しないと、自動的に KEY LOCK が有効になります。KEY LOCK を解除しても、30 秒間無操作状態が続くと、自動的に KEY LOCK が有効になります。
 - ・ Auto Key Lock が無効（Disable）な場合、スタンバイ状態になると自動的に KEY LOCK が有効になりますが、KEY LOCK を解除した後は、解除された状態のままになります。

3-5-1. KEY LOCK の設定

- ・ 本体操作部の <KEY LOCK> ボタンを 1 秒以上押す。

KEY LOCK が有効になります。<KEY LOCK> ボタンのインジケータがオレンジ色に点灯します。KEY LOCK が有効な状態で本体操作部のボタンを押したときは、“Panel is Locked. (KEY LOCK)” と表示され、機能しません（[48 ページ](#)）。



3-5-2. KEY LOCK の解除

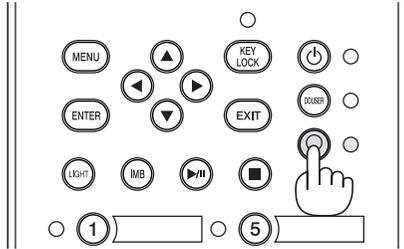
- ・ KEY LOCK が有効なときに、本体操作部の <KEY LOCK> ボタンを 1 秒以上押す。

KEY LOCK が解除されます。<KEY LOCK> ボタンのインジケータが消灯します。

3-6. 本機の電源を入れた状態で光源を点灯 / 消灯する

3-6-1. 光源の消灯

- 本体操作部の <LIGHT ON/OFF> ボタンを 3 秒以上押す。



3-6-2. 光源の点灯

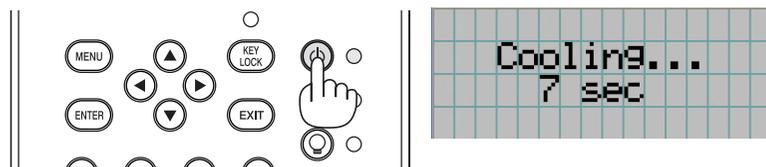
- 本体操作部の <LIGHT ON/OFF> ボタンを 3 秒以上押す。

3-7. 本機の電源を切る

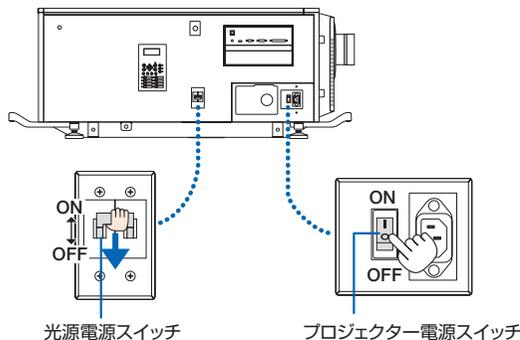
1 本体操作部の <POWER> ボタンを 3 秒以上押す。

光源が消え、<POWER> ボタンのインジケータが緑色、SYSTEM ステータスインジケータがオレンジ色で点滅します（クーリング状態）。

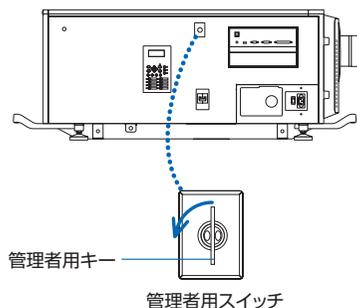
クーリング中はファンが回転し、液晶画面にクーリングの残り時間が表示されます。クーリングが終了すると、<POWER> ボタンのインジケータが消灯し、SYSTEM ステータスインジケータがオレンジ色で点灯します（スタンバイ状態）。初期設定では、スタンバイ状態で 30 秒間、本体操作部を操作しないと、自動的に KEY LOCK が有効になります。KEY LOCK が有効な場合、本体操作部のボタンを押しても機能しません（▶ 44 ページ）。



2 スタンバイ状態になってから、プロジェクター本体の電源スイッチを、プロジェクター電源スイッチ、光源電源スイッチの順に OFF する。



3 管理者用キーを反時計回りに水平方向に回し、管理者用キーを抜く。



4 本体への AC 電源の供給を遮断器などで遮断する。



次のような場合は、主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたり、AC 電源コードを接続しているブレーカを切ったりしないでください。機器が故障するおそれがあります。

- ・ 投写中
- ・ 光源が消灯したあとのクーリング中
- ・ Power Off したあとのクーリング中。
 - IMB 使用時：180 秒
- ・ IMB 動作中（プロジェクター本体がスタンバイ状態になっていないとき）

4.

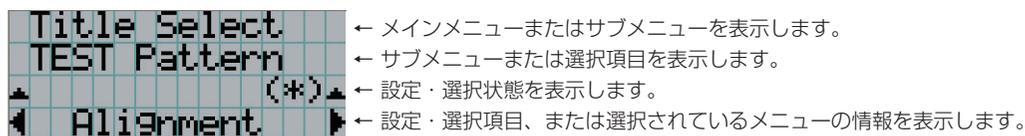
調整メニュー

4-1. 調整メニューの基本操作

プロジェクターの調整は、本体操作部の液晶画面にメニューを表示して行います。

4-1-1. 画面表示

メニュー表示画面は、メニュー表示部（上の2行）と設定項目の表示部（下の2行）から構成されています。



メニュー表示画面の記号の意味は、次のとおりです。

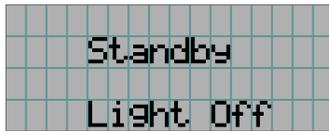
 	上の階層のメニューがあることを示します。 <UP> ボタンを押すと、上の階層のメニューに戻ります。
 	同階層に選択項目またはメニューがあることを示します。 <LEFT/RIGHT> ボタンを押すと、他の選択項目またはメニューが表示されます。
 	下の階層にメニューまたは設定項目があることを示します。 <DOWN> ボタンを押すと、下の階層を表示します。
 	上下の階層に設定項目があることを示します。 <UP> ボタンを押すと、上の階層のメニューに戻ります。 <DOWN> ボタンを押すと、下の階層の設定項目を表示します。

4. 調整メニュー

メニューを表示していないときは、通常、次に示す画面が表示されます。

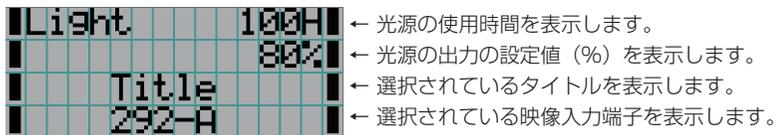
スタンバイ時

プロジェクター本体がスタンバイ状態（主電源スイッチが ON） のときは、次のように表示されます。



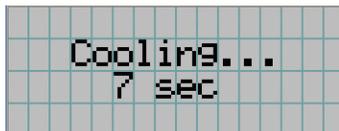
電源が入っているとき

電源が入っているときは、次のように表示されます。



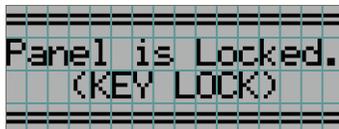
電源を切ったとき

本体操作部の <POWER> ボタンを 3 秒以上押しすと、プロジェクター本体はクーリングを開始します。クーリングが完了すると、プロジェクター本体はスタンバイ状態になります。クーリング中は次のようにクーリングの残り時間が表示されます。



KEY LOCK が有効な状態でボタンを押したとき

KEY LOCK が有効な状態で本体操作部のボタンを押したときは、次のように表示され、機能しません。

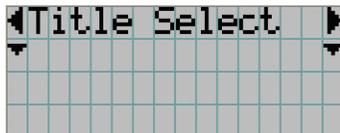


4-1-2. メニューを操作する

準備：プロジェクターの電源を入れてください (🔌 36 ページ)。

1 本体操作部の <MENU> ボタンを押す。

液晶画面にメニューが表示されます。



2 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、“Information” を選択する。

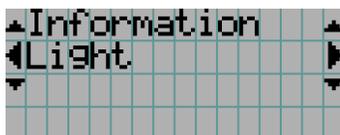
<LEFT/RIGHT> ボタンを押すと、“Title Select” ↔ “Configuration” ↔ “(Title Setup)” ↔ “Information” と表示が変わります。



3 <DOWN> ボタンを押す。

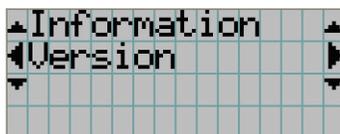
“Information” のサブメニュー “Light” が表示されます。

- ・ <DOWN> ボタンの代わりに、<ENTER> ボタンを押しても項目を選択できます。
- ・ 1つ前の状態に戻る場合は、<UP> ボタン、または <EXIT> ボタンを押します。



4 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、サブメニュー “Version” を選択する。

<LEFT/RIGHT> ボタンを押すと、“Light” ↔ “Lens Type” ↔ “Preset Button” ↔ “Usage” ↔ “Error Code” ↔ “Version” ↔ “IP Address” ↔ “Setup Date” ↔ “Option Status” と表示が変わります。



5 <DOWN> ボタンを押す。

“Version” のさらに下の階層のサブメニュー “System” が表示されます。



4. 調整メニュー

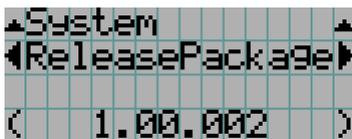
6 <DOWN> ボタンを押す。

“System” のさらに下の階層のサブメニュー “Model” が表示されます。



7 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、サブメニュー “Release Package” を選択する。

<LEFT/RIGHT> ボタンを押すと、Model ↔ Serial No. ↔ Release Package ↔ Kernel ↔ U-Boot ↔ System Files ↔ CinemaFirmware ↔ Cinema Data ↔ ICP Firmware ↔ ICP ConfigFile ↔ FMT FPGA ↔ Secure Processor ↔ Slave BIOS ↔ Slave Firmware ↔ Opt MCUFirmware ↔ LD Interface ↔ LD Driver1 ↔ LD Driver2 ↔ LD Driver3 ↔ LD Driver4 ↔ LD Driver5 ↔ LD Driver6 ↔ LD Driver7 ↔ LD Driver8 ↔ Lens Firmware ↔ Keypad MCU ↔ Router と表示が変わり、各種バージョン情報が表示されます。



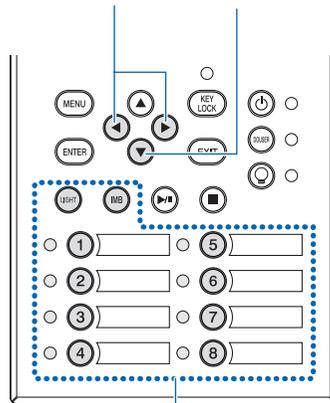
8 <UP> ボタンを数回押す。

<UP> ボタンを押すたびに、1つずつ上の階層に戻ります。

4-1-3. 英数字の入力方法

指定した期間のログファイルを USB メモリーに書き出すときなど、英数字を入力することがあります (71 ページ)。本機では、本体操作部のボタンを押して文字を入力します。

左右に移動します 入力中の文字を削除します



文字を入力します

各ボタンを押すと、下の表のように文字が入力できます。

入力中の文字を削除する場合は、文字の入力中に <DOWN> ボタンを押します。

【入力例】

「XGA」と入力するには次のように操作します。

- (1) <8> ボタンを3回押す。
V → W → X
- (2) <RIGHT> ボタンを押す。
- (3) <3> ボタンを押す。
XG
- (4) <RIGHT> ボタンを押す。
- (5) <1> ボタンを押す。
XGA

ボタン	入力文字列
<1>	A → B → C → 1 → a → b → c → ! → ↑
<2>	D → E → F → 2 → d → e → f → " → ↑
<3>	G → H → I → 3 → g → h → i → # → ↑
<4>	J → K → L → 4 → j → k → l → \$ → ↑
<5>	M → N → O → 5 → m → n → o → % → ↑
<6>	P → Q → R → 6 → p → q → r → & → ↑
<7>	S → T → U → 7 → s → t → u → ' → ↑
<8>	V → W → X → 8 → v → w → x → (→ ↑
<LIGHT>	Y → Z → / → 9 → y → z → ? →) → ↑
<IMB>	* → , → . → 0 → ; → : → + → - → ↑

4. 調整メニュー

4-2. 調整メニュー一覧

() で示すメニューは、サービスマン用のメニューです。通常時は使用できません。

メインメニュー	サブメニュー	説明	参照ページ	
Title Select	"Title Memory 名"	投写する信号のタイトルを選択します。	54	
	TEST Pattern	投写するテストパターンを選択します。	54	
Configuration	Light Setup	Adjust	光源の明るさを調整します。	54
	Lens Control	Lens Position	投写画面の位置を調整します。	55
		Focus Zoom	投写画面の大きさの調整、フォーカス調整を行います。	55
	Reset	(FactoryDefault)	設定値を工場出荷状態に戻します。プリセットボタンとタイトルのみ、LAN 設定のみ、すべての設定の 3 種類を設定できます。	-
		Filter Cleaning	エアフィルター使用時間（清掃時期の確認用）をリセットします。	55
		(Fan Usage)	ファン使用時間をリセットします。	-
		(Light Usage)	光源の使用時間をリセットします。	-
		(Phosphor)	フォスファアの使用時間をリセットします。	-
		(Diffuser)	ディフューザーの使用時間をリセットします。	-
		(Pump)	ポンプの使用時間をリセットします。	58
		(Douser Count)	ダウザーの使用回数をリセットします。	-
		(Setup)	Douser Setup	ダウザーの開閉状態を設定します。
	Panel Key Lock		本体操作部の操作ボタンをロックして操作できないようにします。	-
	Auto Key Lock		Auto Key Lock の有効/無効を選択します。	-
	3D Reference		3D 映像システム用の信号入力端子を設定します。	-
	Off Timer		自動的にプロジェクターの電源が切れるまでの時間を設定します。	-
	Message		光源交換時期、エアフィルター交換時期、エアフィルター清掃時期を示すメッセージを表示する時間を設定します。	-
	Silent Mode		ステータスインジケータ、ブザー、本体操作部のインジケータおよびバックライトの有効/無効を選択します。	-
	Installation(注)	(Option Slot)	(スタンバイ時のみ設定可能) スロットに取り付けた装置を設定します。	-
		(Orientation)	投写方法および冷却ファンの動作モードを設定します。	-
		Lens Type (注)	本機能は使用できません。	56
		Lens Calibrate (注)	(プロジェクター本体の電源が入っているときにのみ使用可能) レンズメモリー対応レンズのキャリブレーションを行います。	56
		Lens Center (注)	(プロジェクター本体の電源が入っているときにのみ使用可能) レンズシフトの位置をセンターに移動します。	56
		(Baudrate)	PC コントロール端子 (RS-232) のデータ転送速度 (bps) を設定します。	-
		(Date/Time)	設置時に日付と時刻を設定します。	-
		(New Router Setup)	プロジェクター本体に内蔵されているルーターの交換時にルーターの初期設定を行います。	-
		(Fan Speed Mode)	冷却ファンの動作モードを設定します。	-
(Service)		(スタンバイ時のみ使用可能) 影調整やレンズマウントの調整（フォーカスバランスの調整）をするときに使用します。	-	
(Memory)		Light	現在の光源の出力値を、選択したメモリー（光源メモリー）に上書きします。	-
	Lens	現在のレンズの調整値を、選択したメモリー（レンズメモリー）に上書きします。	-	
(Title Setup)	Preset Button	Preset Button 1-16	プリセットボタン (<1> ~ <8> ボタン) に割り当てるタイトルを設定します。	57

4. 調整メニュー

Information	Light	Light Output	光源の明るさ（出力）の設定値を表示します。	57	
		Model	光源のモデル名を表示します。	57	
		S/N	光源のシリアル番号を表示します。	57	
	Lens Type		本機能は使用できません。		57
	Preset Button	Preset Button 1-16	プリセットボタン（<1>～<8> ボタン）に割り当てられているタイトルを表示します。	57	
	Usage		プロジェクターの使用状況に関する情報を表示します。	58	
	Error Code		現在発生中のエラーを表示します。	58	
	Version	System	プロジェクター本体の機種名や各種バージョン情報を表示します。	59	
		IMB	メディアブロック（IMB）のベンダー名とバージョン情報を表示します。	59	
	IP Address	System	プロジェクター本体の IP アドレスを表示します。	59	
	Setup Date		本機を設置した日付（保証期間開始日）を表示します。	60	
	Option Status		スロットに取り付けた装置とプロジェクター本体の接続状態を表示します。	60	

(注) プロジェクター本体に Advanced User 以上の権限でログインする必要があります。

4. 調整メニュー

4-3. Title Select

4-3-1. タイトルの選択 (Title Memory)

投写する信号のタイトルを選択します。

タイトルは最大 100 個まで登録できます。また、登録したタイトルは、本体操作部のプリセットボタン (<1> ~ <8> ボタン) に割り当てて、操作ボタンから直接呼び出すことができます。

タイトルの登録、変更については販売店にご依頼ください。

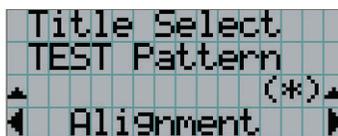


← 現在選択されている項目を(*)印で示します。

← 投写するタイトルを選択します。

4-3-2. Test Pattern

投写するテストパターンを選択します。



← 現在選択されている項目を(*)印で示します。

← 投写するテストパターンを選択します。

OFF、Alignment、Cross Hatch、Convergence、Red、Green、Blue、White、Black、White 50% [IRE]、H-Ramp、Logo、MCG CG-TEST

4-4. Configuration

設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

4-4-1. Light Setup

Adjust

光源の出力 (明るさ) を調整します。



← 光源の定格出力を 100% としたとき、現在の出力値 (%) を表示します。

4-4-2. Lens Control

投写画面の位置、大きさ、フォーカスを調整します。

<ENTER> ボタンを押すと、調整画面(「Lens Position」、「Focus Zoom」)を切り替えられます。1 つ上の階層に戻るには、<EXIT> ボタンを押します。

Lens Position

投写画面の位置を調整します。

<UP/DOWN/LEFT/RIGHT> ボタンを押した方向に投写画面が移動します。



Focus Zoom

投写画面の大きさの調整（ズーム）、フォーカス調整（フォーカス）を行います。

<UP/DOWN> ボタンを押すと、フォーカス調整を行います。

<LEFT/RIGHT> ボタンを押すと、投写画面の大きさを調整します。



4-4-3. Reset

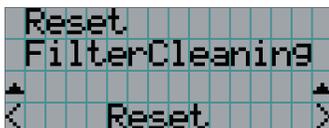
光源、エアフィルターの使用時間をリセットするときに使用します。

Filter Cleaning

エアフィルター使用時間（清掃時期の確認用）をリセットします。

[1] <ENTER> ボタンを押すと、確認画面が表示されます。

[2] 確認画面で “Yes” を選択して <ENTER> ボタンを押すと、フィルター使用時間がリセットされます。



← <ENTER> ボタンを押すと、確認画面を表示します。

4. 調整メニュー

4-4-4. Installation

Lens Type

本機能は使用できません。

Lens Calibrate

レンズメモリー対応レンズのキャリブレーションを行います。レンズメモリー対応レンズを取り付けたあとは、必ずキャリブレーションを行ってください。このメニューはプロジェクター本体の電源が入っていて、Advanced User 以上の権限でログインしているときに使用できます。

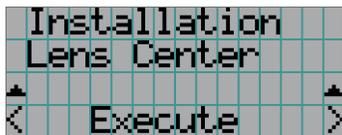


← <ENTER> ボタンを押すと、レンズのキャリブレーションが実行されます。

All	ズーム、フォーカス、レンズシフトポジションのキャリブレーションを行います。
Zoom&Focus	ズーム、フォーカスのキャリブレーションを行います。
Shift(H&V)	レンズシフトポジションのキャリブレーションを行います。

Lens Center

レンズシフトのポジションをセンターの位置に移動します。センター位置はレンズの取り付けなどにより多少ずれる場合があります。このメニューはプロジェクター本体の電源が入っていて、Advanced User 以上の権限でログインしているときに使用できます。



← <ENTER> ボタンを押すと、移動が実行されます。

4-5. Title Setup

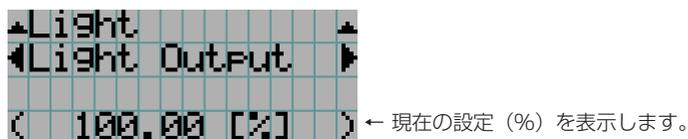
プリセットボタン (<1> ~ <8> ボタン) に割り当てるタイトルを設定します (最大 16 タイトル)。設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

4-6. Information

光源使用時間、バージョン情報、エラーコードなどを表示します。

4-6-1. Light

光源の情報を表示します。



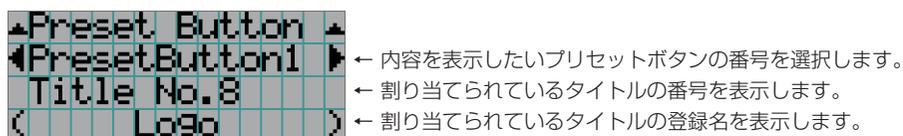
Light Output	光源の明るさ (出力) の設定値を表示します。
Model	光源のモデル名を表示します。
S/N	光源のシリアル番号を表示します。

4-6-2. Lens Type

本機能は使用できません。

4-6-3. Preset Button

本体操作部のプリセットボタン (<1> ~ <8> ボタン) に割り当てられているタイトルを表示します。

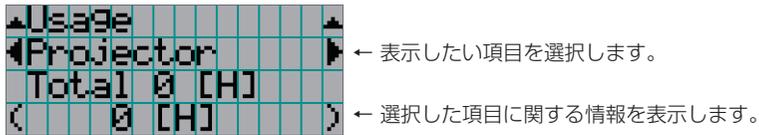


参考 "Preset Button9" ~ "Preset Button16" に割り当てられているタイトルを選択する場合、<UP> ボタンを押しながらプリセットボタンを押してください。
たとえば、"Preset Button9" に割り当てられているタイトルを選択するには、<UP> ボタンを押しながら <1> ボタンを押します。

4. 調整メニュー

4-6-4. Usage

プロジェクター本体、光源、エアフィルター、ファンの使用時間や光源交換時期に関する情報など、プロジェクターの使用状況に関する情報を表示します。



Projector	プロジェクター本体の使用時間を表示します。 上段にスタンバイ状態を含めた使用時間、下段にスタンバイ状態を含めない使用時間を表示します。
Filter Cleaning	エアフィルターの使用時間を表示します。
Fan Usage	ファンの使用時間を表示します。
Light Usage	光源の使用時間を表示します。
Phosphor	フォスファーの使用時間を表示します。
Diffuser	ディフューザーの使用時間を表示します。
Pump	ポンプの使用時間を表示します。
Douser Count	ダウザーの使用回数を表示します。
Diffuser	ディフューザーの使用時間を表示します。

4-6-5. Error Code

エラーが発生したときに、エラーコードを表示します。



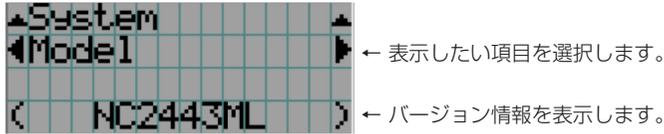
複数エラーが発生している場合は、<LEFT/RIGHT> ボタンを押して表示します。

4-6-6. Version

プロジェクター本体やオプションボード、IMB のバージョン情報などを表示します。

System

プロジェクター本体の各種バージョン情報を表示します。

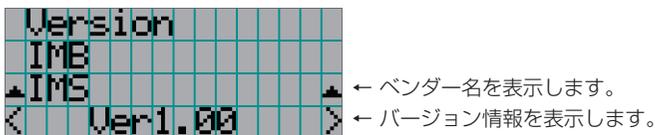


表示項目は以下の通りです。

- ・ Model
- ・ Serial No.
- ・ Release Package
- ・ Kernel
- ・ U-Boot
- ・ System Files
- ・ CinemaFirmware
- ・ Cinema Data
- ・ ICP Firmware
- ・ ICP ConfigFile
- ・ FMT FPGA
- ・ Secure Processor
- ・ Slave BIOS
- ・ Slave Firmware
- ・ Opt MCUFirmware
- ・ LD Interface
- ・ LD Driver1
- ・ LD Driver2
- ・ LD Driver3
- ・ LD Driver4
- ・ LD Driver5
- ・ LD Driver6
- ・ LD Driver7
- ・ LD Driver8
- ・ Lens Firmware
- ・ Keypad MCU
- ・ Router

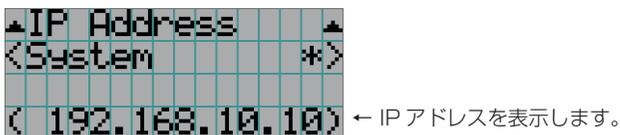
IMB

メディアブロック (IMB) のベンダー名とバージョン情報を表示します。プロジェクター本体がスタンバイ状態の場合、ベンダー名は空欄、バージョン情報は「---」で表示します。



4-6-7. IP Address

プロジェクター本体に設定されている IP アドレスを表示します。



System	プロジェクター本体 (System) の IP アドレスを表示します。
--------	-------------------------------------

4. 調整メニュー

4-6-8. Setup Date

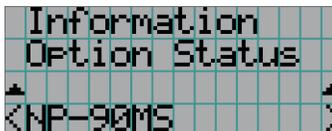
本機を設置した日付（保証期間の開始日）を表示します。



← 本機を設置した日付（保証期間の開始日）を表示します。

4-6-9. Option Status

本機のスロットに装着した装置の接続状態を表示します。プロジェクター本体がスタンバイ状態の場合や装置の状態が確認できない場合には、（ ）が付いた装置名が表示されます。



← スロットに装着した装置の接続状態を表示します。

- NP-90MS:NP-90MS02
- <ベンダー名> IMB: メディアブロック
- No Board: 装置が装着されていません

5.

本体のお手入れ

重要 ・ プロジェクター内部の清掃は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

5-1. キャビネットの清掃



警告

キャビネットの清掃をする前に電源プラグをコンセントから抜いてください。



警告

キャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因になります。

- 毛羽立ちの少ない柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげたりすることがあります。
- 通風孔のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付
けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用したりすることは避けてください。
- 通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をし
てください。設置環境にもよりますが 100 時間を目安に清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、お買い上げの販売店にご相談ください。

注意

キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴム
やビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげたりするなどの原
因となります。

5. 本体のお手入れ

5-2. レンズの清掃

カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



警告

レンズの清掃をする前に電源プラグをコンセントから抜いてください。



警告

- ・プロジェクターのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、視力障害の原因となります。
- ・レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

5-3. エアフィルターの清掃

ほこりの侵入を防ぐため、本機の吸気口にはエアフィルターが取り付けられています。本機の性能を保持するために、エアフィルターは定期的に清掃してください。

- ・エアフィルターの使用時間は、調整メニューの「Information」 - 「Usage」（[58 ページ](#)）で確認できます。



警告

エアフィルターの清掃をする前に電源プラグをコンセントから抜いてください。



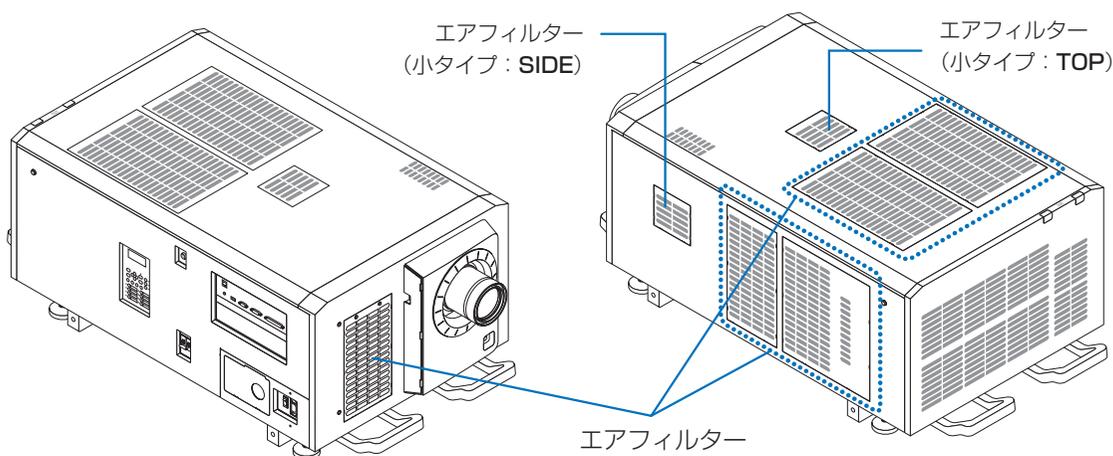
警告

- ・エアフィルターにほこりがたまると、プロジェクター本体への吸気が不十分となり、内部の温度が上昇して、火災や故障の原因となります。
- ・フィルターなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

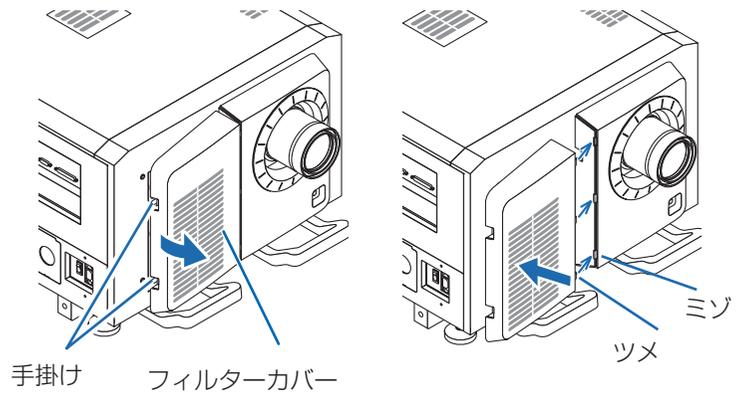


注意

エアフィルターの清掃は、電源を切り冷却ファンの回転が完全に止まってからプロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチを切り、AC 電源を遮断し、本体が十分に冷えたことを確かめてから行ってください。動作中にフィルターユニットを外すとやけどや内部に触れて感電のおそれがあります。



前面のエアフィルターは、フィルターカバーを矢印の方向に引いて取り出してください。取り付けは、フィルタカバーのツメをレンズカバーのミゾに入れてからカバーを閉めて、押し込みます。

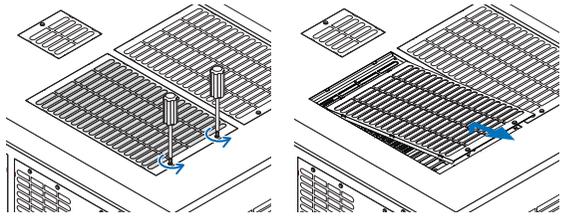


説明の図は上面パネルにあるエアフィルターの清掃方法を示しています。エアフィルター（小タイプ）以外は同じ方法で清掃してください。

1 エアフィルターを取り外す。

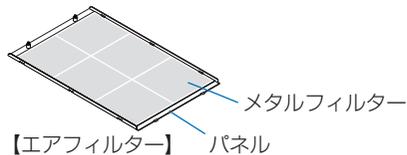
ネジ 2 箇所を左へ空転するまで回し、エアフィルターを少し持ち上げて取り外します。

- ・ネジは外れません。
- ・エアフィルターによってネジの本数は異なります。



2 メタルフィルターを取り外す。

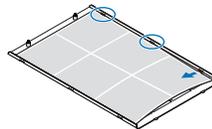
ご注意：エアフィルター（小タイプ）はメタルフィルターは外しません。
次ページ「エアフィルター（小タイプ）の場合」をご覧ください。



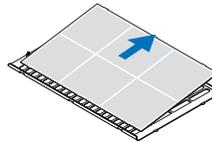
(1) エアフィルターを裏返します。

(2) メタルフィルターをゆっくり少したわませて、パネルのミゾからツメ 3 箇所を順番に外していきます。

ご注意：大きいたわめるとメタルフィルターが折れ曲り修正ができなくなります。十分注意して少したわませて外してください。



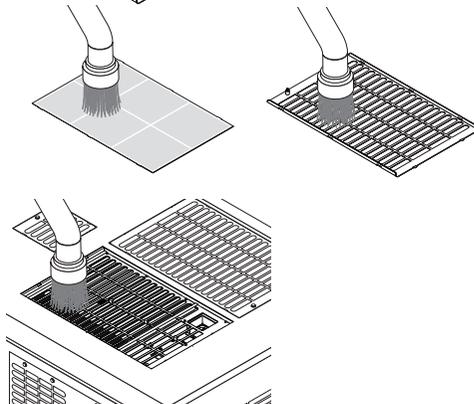
(3) メタルフィルターをパネルから取り出します。



3 掃除機を使用して、ほこりを吸い取る。

メタルフィルターの両面と本体、パネルを掃除機でほこりを吸い取ってください。

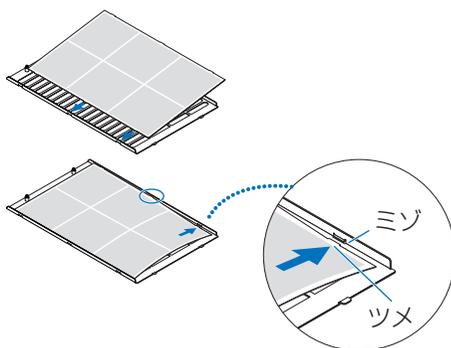
ご注意：メタルフィルターは水洗いしないでください。ほこりが目詰まりして吸気性能が低下します。



5. 本体のお手入れ

4 メタルフィルターを取り付ける

(1) メタルフィルターの3箇所(ツメ)をパネルのミゾに差し込みます。

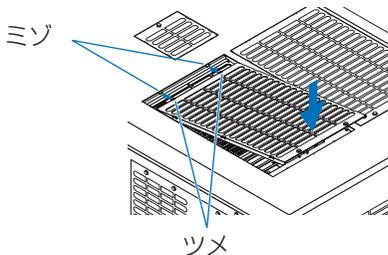


(2) メタルフィルターを少したわませて、反対側の3箇所の突起をパネルの溝に順番に差し込みます。

ご注意：強い力で大きくたわめるとメタルフィルターが折れ曲り使用できなくなります。十分注意して少したわませて差し込んでください。

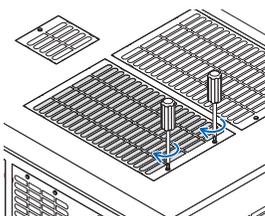
5 エアフィルターを本体に取り付ける。

(1) 本体のミゾにエアフィルターのツメを入れます。



(2) ネジ2箇所を右へ回して締め付けます。
エアフィルターによってネジの本数は異なります。

これで、1箇所のエアフィルターの清掃が完了しました。
他のエアフィルターも同様に清掃してください。



6 エアフィルターの使用時間をリセットする

55 ページ「4-4-3. Reset」の「Filter Cleaning」をご覧ください。

エアフィルター (小タイプ) の場合

1. 手順 1 の要領でネジ 1 箇所を左へ空転するまで返し、エアフィルター (小タイプ) を少し持ち上げて取り外す。

ネジは外れません。

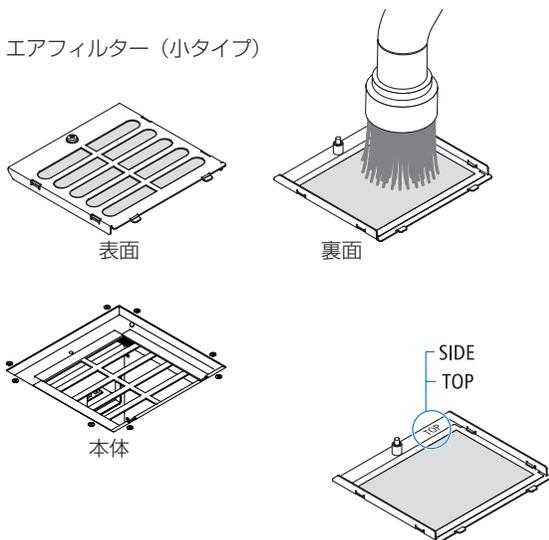
2. 掃除機を使用して、ほこりを吸い取る。

エアフィルターの表面と裏面、本体を掃除機でほこりを吸い取ってください。

ご注意：

- ・メタルフィルターは外さないでください。折れ曲り使用できなくなります。
- ・エアフィルターは水洗いしないでください。ほこりが目詰まりして吸気性能が低下します。

3. 手順 5 の要領でネジ 1 箇所を右へ回して締め付ける。



注意

裏面を確認し、指定箇所に取り付けてください。

4. 手順 6 の操作を行う。

6. 付 録

6-1. 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度設定や操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

6-1-1. 現象と確認事項

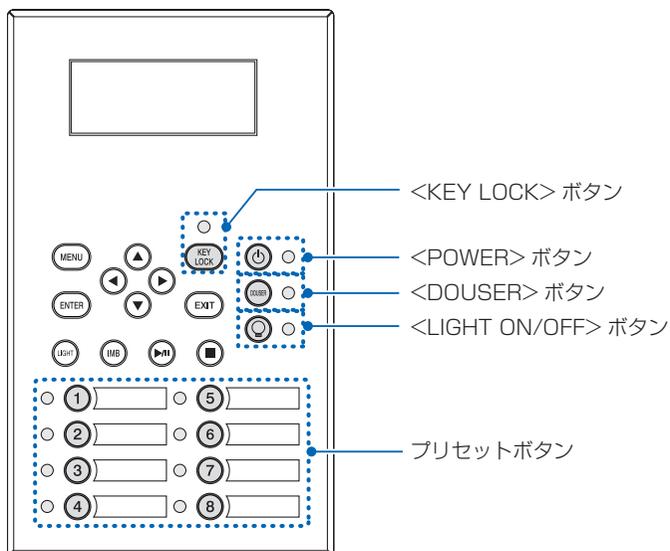
このようなとき	確認してください
電源が入らない	AC 電源が供給されていますか。
	プロジェクター電源スイッチおよび光源電源スイッチは ON になっていますか。
	Panel Key Lock 中ではありませんか。Panel Key Lock 中は、本体の操作ボタンはロックされていて利きません。
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。
管理者用キーを取り付けていますか。管理者用キーを取り付けていない状態では起動しません。	
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。
	ダウンザーが閉じていませんか。
	各設定が正しく調整・設定されていますか。
映像が歪む	正しく設置されていますか。

6. 付 録

このようなとき	確認してください
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。
	投写画面とプロジェクターが正しい角度で設置されていますか。
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。
	レンズなどが結露していませんか。気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。
SYSTEM ステータスインジケータが赤色で点滅する	プロジェクターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にお問い合わせください。
エラーコードが表示された	お買い上げの販売店にお問い合わせください。

6-2. インジケータ表示一覧

本体操作部のボタンや、本体後部にあるインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。また、本機にはブザーによる警報機能もあります。



6-2-1. プリセットボタン

インジケータ表示	本機の状態	対 処	
消灯	ボタンにタイトルが割り当てられていません。	—	
点灯	ボタンにタイトルが割り当てられています。	—	
	緑色	タイトルが選択されています。	—
	白色	タイトルが選択されていません。	—

6-2-2. <KEY LOCK> ボタン

インジケータ表示		本機の状態	対 処
消灯		KEY LOCK 解除状態	—
点灯	オレンジ色	KEY LOCK 有効状態	—

6-2-3. <POWER> ボタン

インジケータ表示		本機の状態	対 処
消灯		プロジェクター電源 OFF	—
点滅	オレンジ色	本体ソフトウェア起動中	しばらくお待ちください。
	緑色 (1 回周期) (注 1)	電源 ON 準備中 / 冷却ファン回転中 (電源を OFF にしてからスタンバイ状態になる までの状態)	しばらくお待ちください。
	緑色 (注 2)	スリープタイマー有効時	—
点灯	緑色	電源 ON 状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態	—

(注 1) 0.5 秒点灯 → 0.5 秒消灯を繰り返します。

(注 2) 2.5 秒点灯 → 0.5 秒消灯を繰り返します。

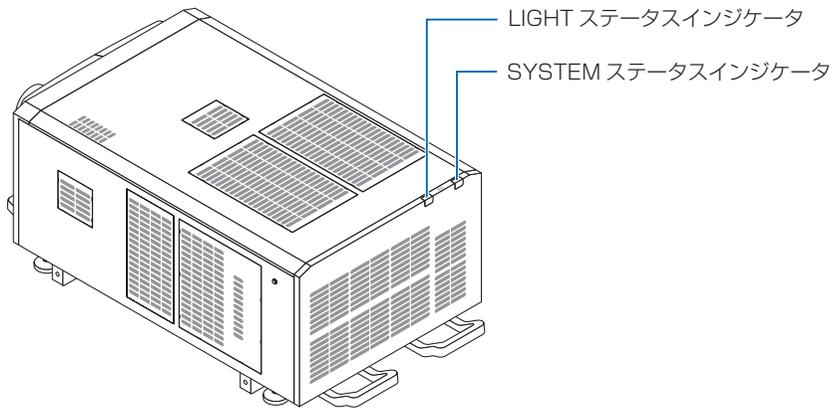
6-2-4. <DOUSER> ボタン

インジケータ表示		本機の状態	対 処
点灯	緑色	ダウザー ON	—
消灯		ダウザー OFF	—

6-2-5. <LIGHT ON/OFF> ボタン

インジケータ表示		本機の状態	対 処
消灯		光源 OFF	—
点灯	緑色	光源 ON	—

6-2-6. インジケータ



SYSTEM ステータスインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	対 処
消灯		主電源 OFF	—
点滅	緑色	電源 ON 準備中、ダウザー ON、光源 OFF	しばらくお待ちください。
	オレンジ色	本体冷却中	しばらくお待ちください。
	赤色（ブザーあり）	安全性に問題がある異常あり	液晶画面にエラーメッセージが表示されます。エラー内容を確認してください。
	赤色（ブザーなし）	条件付きで映写可能な異常あり	
点灯	緑色	電源 ON 状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態	—
	赤色	映写に支障のないレベルの異常あり	液晶画面にエラーメッセージが表示されます。エラー内容を確認してください。

LIGHT ステータスインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	対 処
消灯		光源 OFF	—
点灯		光源 ON	—

6-3. HTTP を使用したブラウザによる操作

6-3-1. 概 要

HTTP サーバ機能を使用することにより、Web ブラウザからプロジェクターを操作することができます。なお、Web ブラウザは「Microsoft Internet Explorer 4.x」以上を必ず使用してください。

HTTP サーバ機能は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。



ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。

その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。

HTTP サーバ機能へのアクセスは、プロジェクターとネットワークで接続されたコンピュータで Web ブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ

`http://〈本機の IP アドレス〉/index.html`

と指定することで行えます。

6-3-2. 使用前の準備

ブラウザによる操作を行う前にあらかじめプロジェクターに対して、ネットワークとの接続と設定を行ってください。

プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。極力プロキシサーバは使用されないことを推奨します。

6-3-3. HTTP サーバに接続するときの URL

通常 HTTP サーバの URL は「`http://〈本機の IP アドレス〉/index.html`」を指定しますが、次の条件を満たしている場合には、本機のホスト名を使用した URL で接続できます。

- ・ドメインネームサーバにプロジェクターのホスト名が登録されている
- ・コンピュータの「HOSTS」ファイルに、プロジェクターの IP アドレスとホスト名が追加されている

(例 1) プロジェクターのホスト名が「`pj.nec.co.jp`」と設定されている場合

HTTP サーバ機能へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ

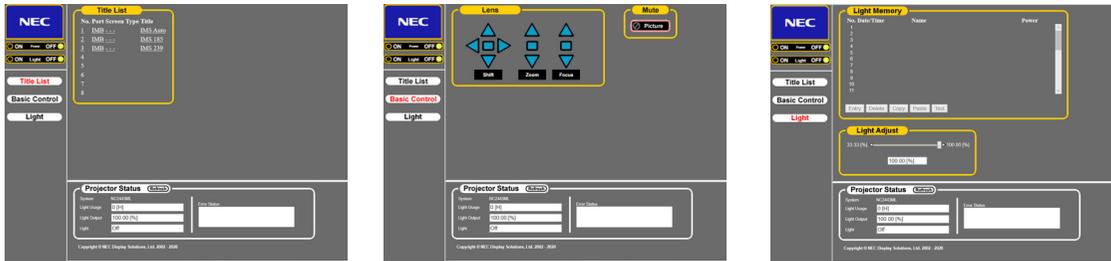
`http://pj.nec.co.jp/index.html` と指定します。

(例 2) プロジェクターの IP アドレスが「`192.168.10.10`」の場合

HTTP サーバ機能へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ

`http://192.168.10.10/index.html` と指定します。

6-3-4. HTTP サーバの構造



Power		プロジェクターの電源をオン/オフします。 ・ On : 電源をオンにします。 ・ Off : 電源をオフにします。
Light		光源を点灯/消灯します。 ・ On : 光源を点灯します。 ・ Off : 光源を消灯します。
Title List		プロジェクターにセットされているタイトル（入力ポート、スクリーンタイプ、タイトル）を表示します。 クリックするとタイトルが切り替わります。
Basic Control		基本的な制御項目が表示されます。
Lens		レンズ操作を制御します。
	Shift	▲ : 投写位置を上に移動します。 ▼ : 投写位置を下に移動します。 ◀ : 投写位置を左に移動します。 ▶ : 投写位置を右に移動します。 ■ : 投写位置の移動を停止します。 移動中に、同じボタンをもう一度クリックすると移動が停止します。
	Zoom	▲ : ズームインします。 ▼ : ズームアウトします。 ■ : ズームイン/ズームアウトを停止します。 ズームイン/ズームアウト中に、同じボタンをもう一度クリックするとズームイン/ズームアウトが停止します。
	Focus	▲ : フォーカスを遠距離方向に移動します。 ▼ : フォーカスを近距離方向に移動します。 ■ : フォーカスの移動を停止します。 フォーカスの移動中に、同じボタンをもう一度クリックするとフォーカスの移動が停止します。
Mute	Picture	クリックするとダウザーが閉じて映像が一時的に消えます。もう一度クリックすると再び映像が投写されます。
Projector Status		プロジェクターの状態を表示します。 ・ Light Usage : 光源の使用時間を表示します。 ・ Light Power : 光源の出力 (%) を表示します。 ・ Light Status : 光源の状態 (On : 点灯 / Off : 消灯) を表示します。 ・ Error Status : プロジェクター内部のエラー発生状況を表示します。 ・ Refresh : 状態表示を更新します。
Light Memory	Entry	現在の光源出力値をメモリーに保存します。
	Delete	リスト上で選択したメモリーを Light Memory から削除します。
	Copy	リスト上で選択したメモリーをコピーします。
	Paste	リスト上で選択したメモリーに、コピーしたメモリーを保存 / 上書きします。
	Test	リスト上で選択したメモリーの調整値をテストします。

6-4. ログファイルの書き出し (Save Information)

本体に保存されたログファイルを本体の USB ポートに接続している USB メモリーに書き出すことができます。ログファイルの書き出しは次の手順で行います。

1 本体の USB ポートに USB メモリーを接続します。

USB メモリーが認識され、使用できる状態になるまでお待ちください (5 秒以上)。詳しくは、USB メモリーの取扱説明書を参照してください。

2 <UP> ボタンと <ENTER> ボタンを同時に押します。

“Save Info.” 画面が表示されます。

```

** Save Info. **
  Date Filter
  ◀ Today ▶
*****

```

参考 操作中に <EXIT> ボタンを押すと、操作を中止して通常時の画面に戻ります。

3 <LEFT/RIGHT> ボタンを押して、ログファイルを書き出す期間を選択します。

選択できる項目は次のとおりです。

Today	本日分のログファイルを書き出します。
7days	本日から過去 1 週間分のログファイルを書き出します。
30days	本日から過去 30 日分のログファイルを書き出します。
2years	本日から過去 2 年分のログファイルを書き出します。
Manual	指定した期間のログファイルを書き出します。

4 <ENTER> ボタンを押します。

“Today”、“7days”、“30days”、“2years” を選択した場合、ログファイルを書き出す期間が表示されます。

```

** Save Info. **
 2016/03/11 Fri
 2016/03/18 Fri
  ◀ Execute ▶

```

←ログファイルを書き出す期間が表示されます。

6. 付 録

“Manual” を選択した場合、ログファイルを書き出す期間を設定します。数字の入力方法については、「4-1-3. 英数字の入力方法」(51 ページ) を参照してください。<ENTER> ボタンを押すと、次のように画面が進みます。

```

** Save Info. **
Date Filter
From Date
[2016/03/18 Fri] ← 書き出しを開始する日付を入力します。

```

↓<ENTER>ボタンを押す。

```

** Save Info. **
Date Filter
To Date
[2016/12/21 Wed] ← 書き出しを終了する日付を入力します。

```

↓<ENTER>ボタンを押す。

```

** Save Info. **
2016/03/18 Fri
2016/12/21 Wed
◀ Execute ▶ ← ログファイルを書き出す期間が表示されます。

```

- 5** ログファイルを書き出す期間を確認したら、<LEFT/RIGHT> ボタンを押して “Execute” を選択して、<ENTER> ボタンを押します。

設定した期間のログファイルを USB 機器に書き出します。書き出しが完了すると、次の画面が表示されます。

```

** Save Info. **
Complete(USB)
<OK>
*****

```

参考 “Cancel” を選択して <ENTER> ボタンを押すと、ログファイルの書き出しを中止して、通常時の画面に戻ります。

- 6** <ENTER> ボタンを押します。

通常時の画面に戻ります。

```

| Light      | 100H |
|           | 80%  |
|           | Title |
|           | 292-A |

```

- 7** USB メモリーを本体の USB ポートから取り外します。

6-4-1. ログファイルのファイル名

書き出したログファイルは、次のファイル名で保存されます。

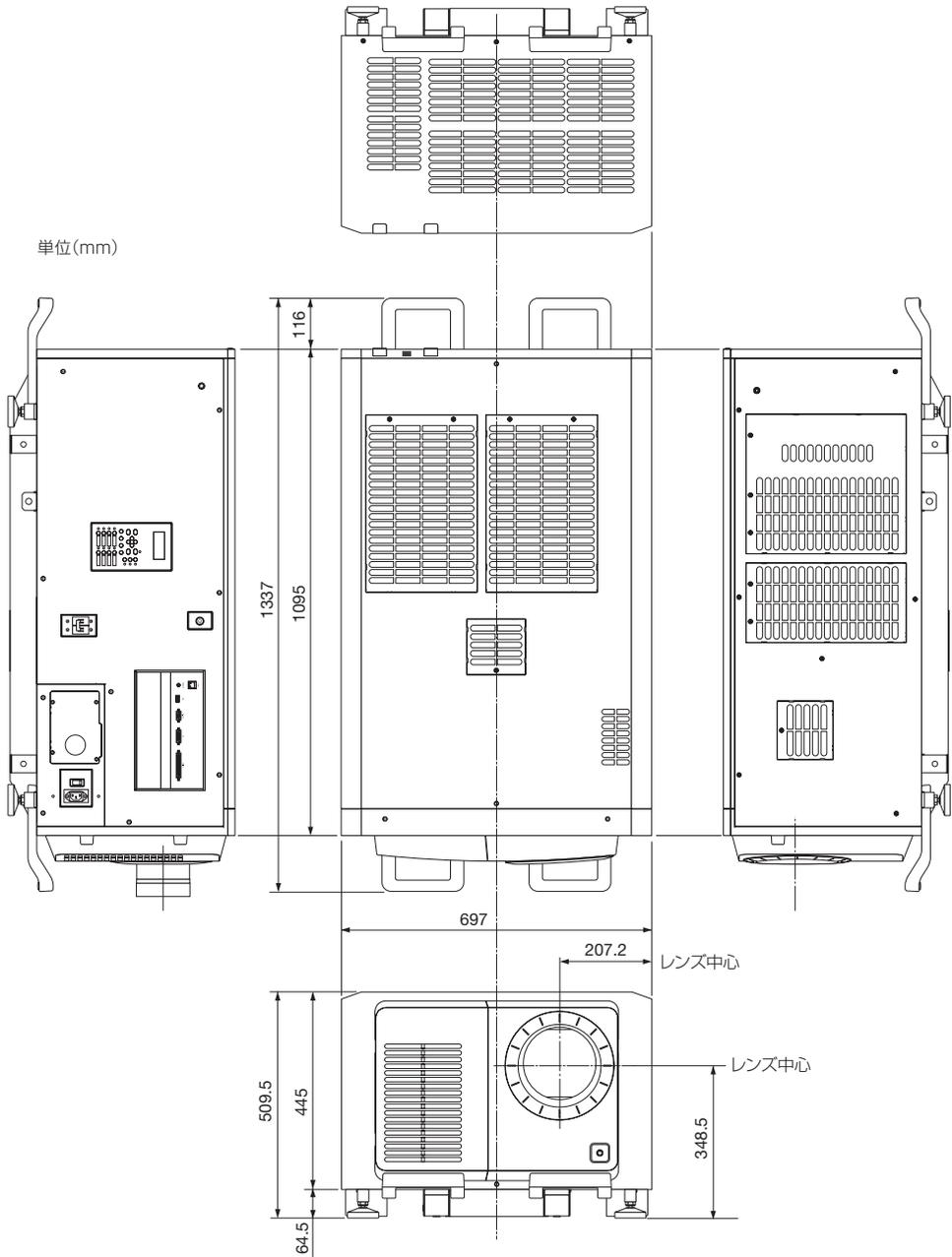
(モデル名)_(シリアル番号)_YYMMDDHHmm.txt

(モデル名)	プロジェクターの機種を示します。
(シリアル番号)	プロジェクターのシリアル番号を示します。
YYMMDDHHmm	書き出した日付を示します。 YY: 年 (2桁) MM: 月 (2桁) DD: 日 (2桁) HH: 時 (2桁) mm: 分 (2桁)

たとえば、2019/01/28 14:05 に NC2443ML のログファイルを書き出した場合は、「NC2443ML_abcd1234_1901281405.txt」のファイル名で保存されます。

6-5. 外観図

6-5-1. プロジェクター本体



6-6. 仕様

機種名	DLP Cinema® プロジェクターヘッド : NP-42HD		
ライトモジュール	NP-24LU03	NP-20LU03	NP-18LU03
DLP Cinema® プロジェクター	NP-NC2443ML	NP-NC2043ML	NP-NC1843ML
投写方式	3 チップ DLP Cinema® 方式 0.98 インチ DC4K チップ		
パネル解像度	4096 × 2160		
光源	Laser Diode		
スクリーン幅	最大 22m	最大 20m	最大 19m
	@14ft-L, Screen Gain 1.8 (設置条件による)		
コントラスト比	2,000:1 with DCI specified color representation		
レンズ調整機能	電動レンズシフト (縦 / 横)、電動ズーム、電動フォーカス、ダウザー		
信号入力端子 (スロット)	工場出荷時 空き (別売オプション搭載用) (注1)		
外部コントロール	<ul style="list-style-type: none"> ・ RS-232C (D-sub 9pin) × 1 ・ サービス専用端子 (ステレオミニジャック) × 1 ・ GPIO ポート (D-sub 37pin) × 1 ・ Ethernet ポート (G-bit RJ-45) × 1 ・ 3D CTL (D-sub 15pin) × 1 ・ インターロック端子 × 1 ・ USB (Type A) × 1 		
電源			
C1 接続の場合 (注3)	プロジェクター電源 + 光源電源	単相 AC 200V-240V 50/60Hz	
C2 接続の場合 (注3)	プロジェクター電源	単相 AC 100V-240V 50/60Hz	
	光源電源	単相 AC 200V-240V 50/60Hz	
入力電流			
C1 接続の場合 (注3)	プロジェクター電源 + 光源電源	19.1A	
	C2 接続の場合 (注3)	プロジェクター電源	AC100V時 7.0A
			AC200V時 3.5A
	光源電源	15.6A	
消費電力			
C1 接続の場合 (注3)	プロジェクター電源 + 光源電源	3,182W	3,146W
	C2 接続の場合 (注3)	プロジェクター電源	362W
		光源電源	2,820W
冷却方式	空冷システムおよび液冷システム		
騒音レベル	50dB 以下		
設置方式	デスク / フロント、デスク / リア、天井吊り / フロント、天井吊り / リア		

6. 付 録

機種名	DLP Cinema® プロジェクターヘッド：NP-42HD		
ライトモジュール	NP-24LU03	NP-20LU03	NP-18LU03
DLP Cinema® プロジェクター	NP-NC2443ML	NP-NC2043ML	NP-NC1843ML
質量	153kg（プロジェクターとライトモジュール NP-24LU03 または NP-20LU03 の合計質量。レンズを除く。）		144kg（プロジェクターとライトモジュール NP-18LU03 の合計質量。レンズを除く。）
外形寸法	697mm（幅）× 1,095mm（奥行）× 509.5mm（高さ）		
使用環境	動作温度：10～35℃ 動作湿度：10～85%（ただし結露しないこと） 保存温度：-10～50℃ 保存湿度：10%～85%（ただし結露しないこと） 動作高度：0～3000m		

（注 1） 工場出荷時には、映像信号入力端子が実装されていません。別売のオプションボードを取り付けることにより、入力端子を追加できます（[84 ページ](#)）。

（注 2） 数値は代表値です。

（注 3） C1 接続は、プロジェクター電源と光源電源へ AC 電源を 1 本の電源ケーブルで供給する場合

C2 接続は、プロジェクター電源と光源電源へ別々の電源ケーブルで AC 電源を供給する場合

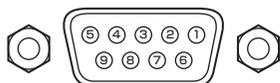
※ レーザー製品に関する取得規格については、「本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください」（[3 ページ](#)）をご覧ください。

※ この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

6-7. 端子のピン配列と機能

6-7-1. PC コントロール端子 (RS-232) (D-sub9 ピン)

コンピューターでプロジェクター本体をコントロールするための RS-232C インターフェイスです。プロジェクターは、データ通信装置 (DCE: Data Communication Equipment) として動作しますので、コンピューターと接続する場合はストレートケーブルを使用します。



ピン番号	RS-232C 信号名	RS-232C としての機能	プロジェクターの端子動作
1	CD	キャリア検出	未使用 (N.C.)
2	RXD	受信データ	外部へデータ送信
3	TXD	送信データ	外部からデータ受信
4	DTR	データ端末レディ (注)	6 ピンと接続
5	GND	信号 GND	信号 GND
6	DSR	データセットレディ (注)	4 ピンと接続
7	RTS	送信要求	SYSTEM : Hi-Z (未使用) CINEMA : Hi-Z (使用)
8	CTS	送信可	SYSTEM : -6.5V 固定 (未使用) CINEMA : ± 10.5V (使用 : 通信状態による)
9	RI	リングインジケータ	未使用 (N.C.)

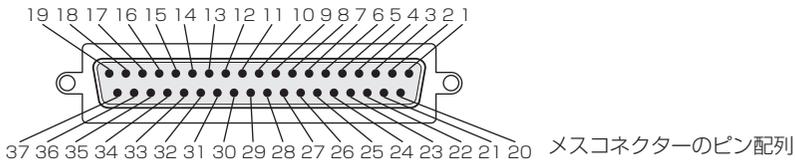
(注) 通信を行う際 DTR、DSR 信号は使用しません。

6. 付 録

6-7-2. 外部コントロール端子 (GP I/O) (D-sub37 ピン)

外部コントロール端子(GPIO : General Purpose I/O Ports)を使って外部機器等でプロジェクターをコントロールしたり、プロジェクターから外部機器をコントロールしたりすることができます。各ピンはフォトカプラーによってプロジェクター内部回路とは電気的に分離しており、入力 8 ポートと出力 8 ポートを備えています。

使用方法、操作方法の詳細については販売店にお問い合わせください。

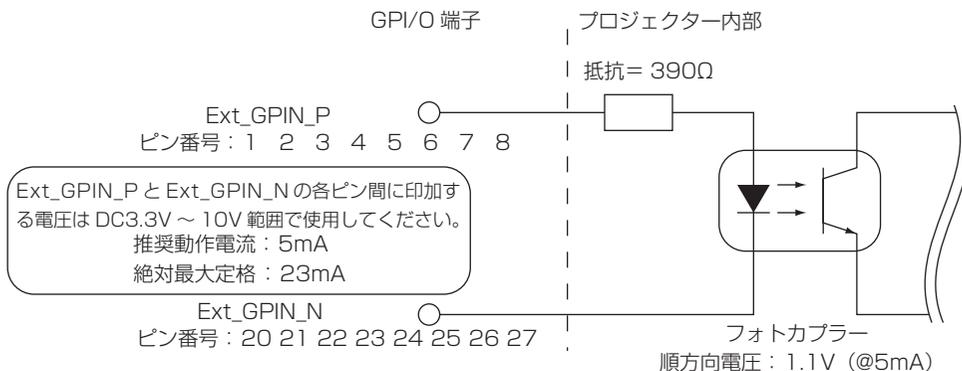


ピン番号	信号名	入出力	ピン番号	信号名	入出力
1	GPIN1 + (3D L/R Input Reference +)	IN	20	GPIN1 - (3D L/R Input Reference -)	IN
2	GPIN2 + (3D L/R Display Reference +)	IN	21	GPIN2 - (3D L/R Display Reference -)	IN
3	GPIN3 + (システム予約)	IN	22	GPIN3 - (システム予約)	IN
4	GPIN4 + (システム予約)	IN	23	GPIN4 - (システム予約)	IN
5	EXT_GPIN1 + (Control and Title Selection +)	IN	24	EXT_GPIN1 - (Control and Title Selection -)	IN
6	EXT_GPIN2 + (Control and Title Selection +)	IN	25	EXT_GPIN2 - (Control and Title Selection -)	IN
7	EXT_GPIN3 + (Control and Title Selection +)	IN	26	EXT_GPIN3 - (Control and Title Selection -)	IN
8	EXT_GPIN4 + (Control and Title Selection +)	IN	27	EXT_GPIN4 - (Control and Title Selection -)	IN
9	GPOUT1 + (External 3D L/R Output Reference +)	OUT	28	GPOUT1 - (External 3D L/R Output Reference -)	OUT
10	GPOUT2 + (システム予約)	OUT	29	GPOUT2 - (システム予約)	OUT
11	GPOUT3 + (システム予約)	OUT	30	GPOUT3 - (システム予約)	OUT
12	GPOUT4 + (Internal 3D L/R Output Reference +)	OUT	31	GPOUT4 - (Internal 3D L/R Output Reference -)	OUT
13	EXT_GPOUT1 + (Projector Ready/Busy +)	OUT	32	EXT_GPOUT1 - (Projector Ready/Busy -)	OUT
14	EXT_GPOUT2 + (Projector Error Status +)	OUT	33	EXT_GPOUT2 - (Projector Error Status -)	OUT
15	EXT_GPOUT3 + (IMB Play/End Status +)	OUT	34	EXT_GPOUT3 - (IMB Play/End Status -)	OUT
16	EXT_GPOUT4 + (Projector Heartbeat +)	OUT	35	EXT_GPOUT4 - (Projector Heartbeat -)	OUT
17	NC (未接続)	-	36	NC (未接続)	-
18	GND	PWR	37	GND	PWR
19	GND	PWR	-	-	-

EXT_GPIN1 ~ EXT_GPIN4 : 入力信号 (High/Low) の組み合わせにより、外部からプロジェクターを制御できます。(プロジェクター電源 / 光源の点灯 (または消灯) / 映像ミュート / タイトル選択)

EXT_GPOUT1 ~ EXT_GPOUT4 : 表に記載されている機能は初期設定です。割り当てられた機能は変更できます。

入力端子



● GPIO コントロールを使用する

ON パルスを GPIO ポートに入力することにより、プロジェクトの制御ができます。

ON パルスを有効にするには、500ms 以上のパルス幅が必要です。また、ON パルスを入力するまえに 500ms 以上の OFF を保持する必要があります (● 80 ページ)。

GPIO ポートを使ったプロジェクト制御の機能一覧を次に示します。

ピン番号	フォトカプラー ON / OFF				機能
1-20	ON / OFF				3D L/R タイミング信号入力 ON / OFF
2-21	ON / OFF				3D L/R 表示タイミング信号入力 ON / OFF
3-22	-				システム予約 (内部で使用)
4-23	-				システム予約 (内部で使用)
5-24	8-27	7-26	6-25	5-24	入力端子の組み合わせによって、以下の機能になります。
6-25	OFF	OFF	OFF	ON	電源 ON
7-26	OFF	OFF	ON	OFF	電源 OFF
8-27	OFF	OFF	ON	ON	光源 ON
	OFF	ON	OFF	OFF	光源 OFF
	OFF	ON	OFF	ON	映像ダウザー ON
	OFF	ON	ON	OFF	映像ダウザー OFF
	OFF	ON	ON	ON	システム予約 (内部で使用)
	ON	OFF	OFF	OFF	プリセットボタン 1 に登録しているタイトルを選択
	ON	OFF	OFF	ON	プリセットボタン 2 に登録しているタイトルを選択
	ON	OFF	ON	OFF	プリセットボタン 3 に登録しているタイトルを選択
	ON	OFF	ON	ON	プリセットボタン 4 に登録しているタイトルを選択
	ON	ON	OFF	OFF	プリセットボタン 5 に登録しているタイトルを選択
	ON	ON	OFF	ON	プリセットボタン 6 に登録しているタイトルを選択
	ON	ON	ON	OFF	プリセットボタン 7 に登録しているタイトルを選択
	ON	ON	ON	ON	プリセットボタン 8 に登録しているタイトルを選択

映像をミュート (映像ダウザー ON) にする場合：6-25 と 8-27 を OFF にした状態で、5-24 と 7-26 に ON を入力する。
プリセットボタン 2 を選択する場合：6-25 と 7-26 を OFF にした状態で、5-24 と 8-27 に ON を入力する。

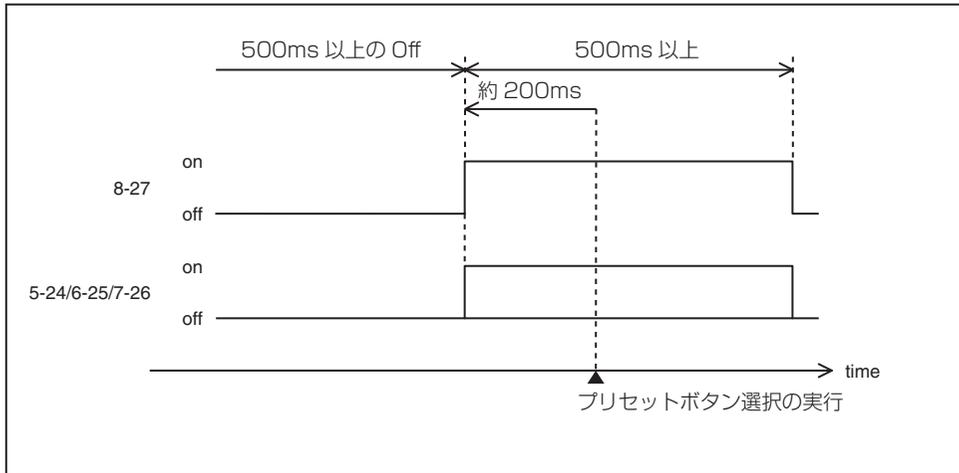


- ・光源のクーリング中やタイトル切り替え中などプロジェクトが別の処理を実行している場合、GPIO ポートから入力された操作コマンドはキャンセルされます。
- ・操作対象以外のピンは OFF に設定する必要があります。
- ・操作コマンドが実行されるタイミングは、ON パルスが連続で約 200 ms 入力されたタイミングになります。

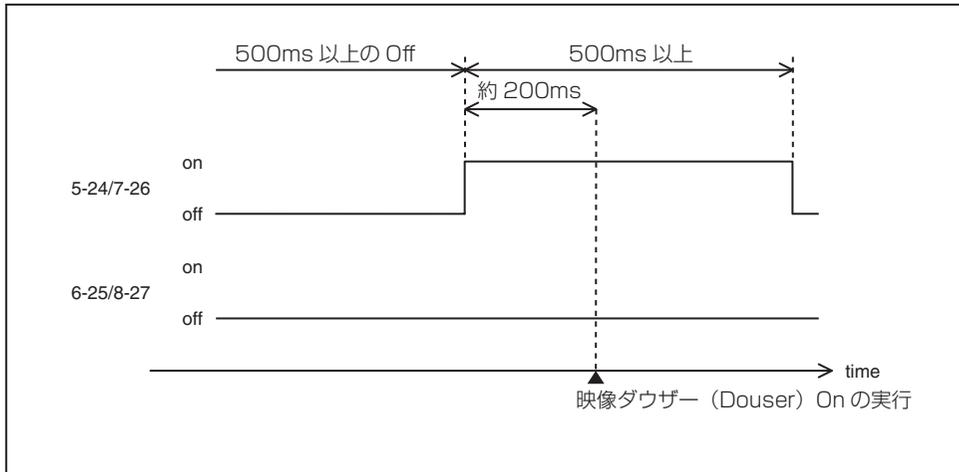
6. 付 録

● GPIO コントロールのタイミングチャート

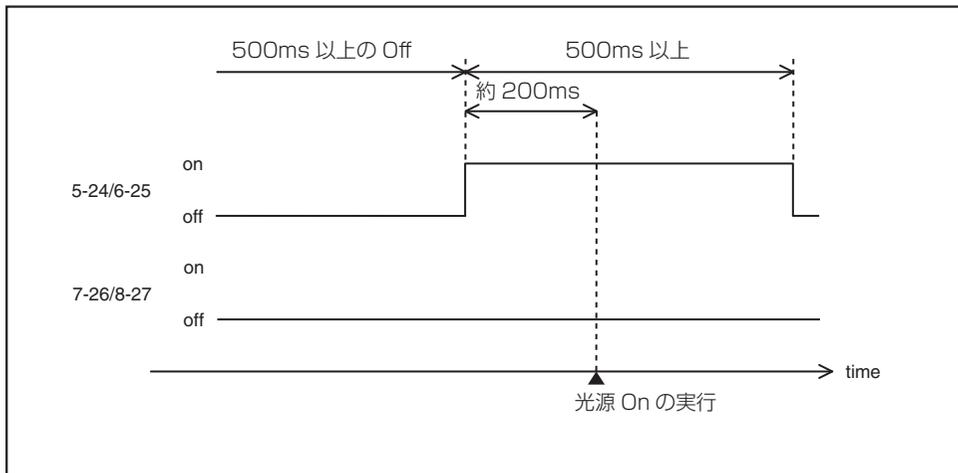
プリセットボタン選択の例



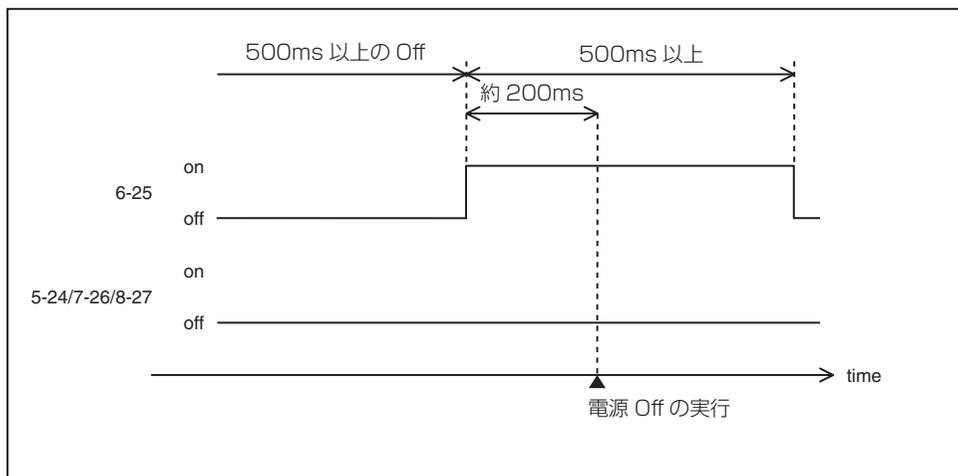
映像ダウザー（Douser）On の例



光源 On の例



電源 Off の例



出力端子



● GPIO コントロールを使用する

プロジェクターのヘルスチェックやエラーチェックなどに使用します。また、出力された内容をトリガーとして、外部の装置を制御できます。

初期設定では、ピン番号 13-32/14-33/15-34/16-35 (EXT_GPOUT1 ~ EXT_GPOUT4) に以下の機能が割り当てられています。割り当てられた機能は変更できます。

ピン番号	フォトカプラー ON / OFF	機能
9-28	ON / OFF	外部 3D L/R タイミング信号出力 ON / OFF
10-29	—	システム予約 (内部で使用)
11-30	—	システム予約 (内部で使用)
12-31	ON / OFF	内部 3D L/R タイミング信号出力 ON / OFF
13-32	ON / OFF	GPIO コントロールの状態確認 ON: GPIO コントロール (入力) を使用できません。 OFF: GPIO コントロール (入力) を使用できます。
14-33	ON / OFF	エラーチェック ON: エラーあり OFF: エラーなし
15-34	ON / OFF	IMB の状態確認 ON: コンテンツ再生中 OFF: 停止 / 一時停止中
16-35	ON / OFF	ヘルスチェック (ハートビート) 正常に動作している場合、ON / OFF が交互に出力されます。

6-7-3. 3D 端子 (3D) (D-sub15 ピン)

プロジェクターに 3D 映像システムを接続するときに使用します。



メスコネクターのピン配列

ピン番号	信号名	入出力	説明
1	+12V	PWR	3D 映像システムに電源 (+ 12V) を供給
2	GNDC	GND	グラウンド
3	GNDC	GND	グラウンド
4	RS232_RX	IN	3D 映像システムからの受信データ (1200 Baud、8 bits、No Parity)
5	RS232_TX	OUT	3D 映像システムへの送信データ (1200 Baud、8 bits、No Parity)
6	CONN_3D_MODE +	OUT	3D モード状態 (+) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの出力側トランジスタのコレクタに接続)
7	CONN_SYNC +	OUT	3D L/R 切り替えタイミング信号 (+) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの出力側トランジスタのコレクタに接続)
8	3D_INPUT_REFERENCE +	IN	3D L/R タイミング信号 (+) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの入力側ダイオードのアノードに接続)
9	+12V	PWR	3D 映像システムに電源 (+ 12V) を供給
10	3D_INPUT_REFERENCE -	IN	3D L/R タイミング信号 (-) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの入力側ダイオードのカソードに接続)
11	3D_DISPLAY_REFERENCE +	IN	3D L/R 表示タイミング信号 (+) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの入力側ダイオードのアノードに接続)
12	3D_DISPLAY_REFERENCE -	IN	3D L/R 表示タイミング信号 (-) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの入力側ダイオードのカソードに接続)
13	CONN_3D_MODE -	OUT	3D モード状態 (-) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの出力側トランジスタのエミッタに接続)
14	CONN_SYNC -	OUT	3D L/R 切り替えタイミング信号 (-) (プロジェクター内部で、フォトカブラーの出力側トランジスタのエミッタに接続)
15	N/C	-	未接続

6-8. 関連商品一覧

商品名		型名
レンズ	Zoom lens 1.20 ~ 1.80	NC-60LS12ZW
	Zoom lens 1.20 ~ 1.81	NC-60LS12Z
	Zoom lens 1.40 ~ 2.05	NC-60LS14Z
	Zoom lens 1.59 ~ 2.53	NC-60LS16Z
	Zoom lens 1.90 ~ 3.25	NC-60LS19Z
	Zoom lens 2.40 ~ 3.90	NC-60LS24Z
	Zoom lens 3.90 ~ 6.52	NC-60LS39Z
プロジェクターヘッド		NP-42HD
ライトモジュール	スクリーン幅 最大 22m	NP-24LU03
	スクリーン幅 最大 20m	NP-20LU03
	スクリーン幅 最大 19m	NP-18LU03

保証と修理サービス(必ずお読みください)

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのと大切に保存してください。

●保証期間

本体:お買い上げ日から2年間です。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、5年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問はお買い上げの販売店またはシャープNECディスプレイソリューションズ株式会社にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(65 ページ)に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	DLP Cinema® プロジェクター
型名	NP-42HDおよびNP-24LU03
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんりメモ	お買い上げ店名	☎ () -
-------	---------	---------

修理料金の仕組み

- ・技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+
- ・部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+
- ・出張料
製品を引き取りする、製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

(MEMO)

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社
国内販売本部

TEL:044-435-1839